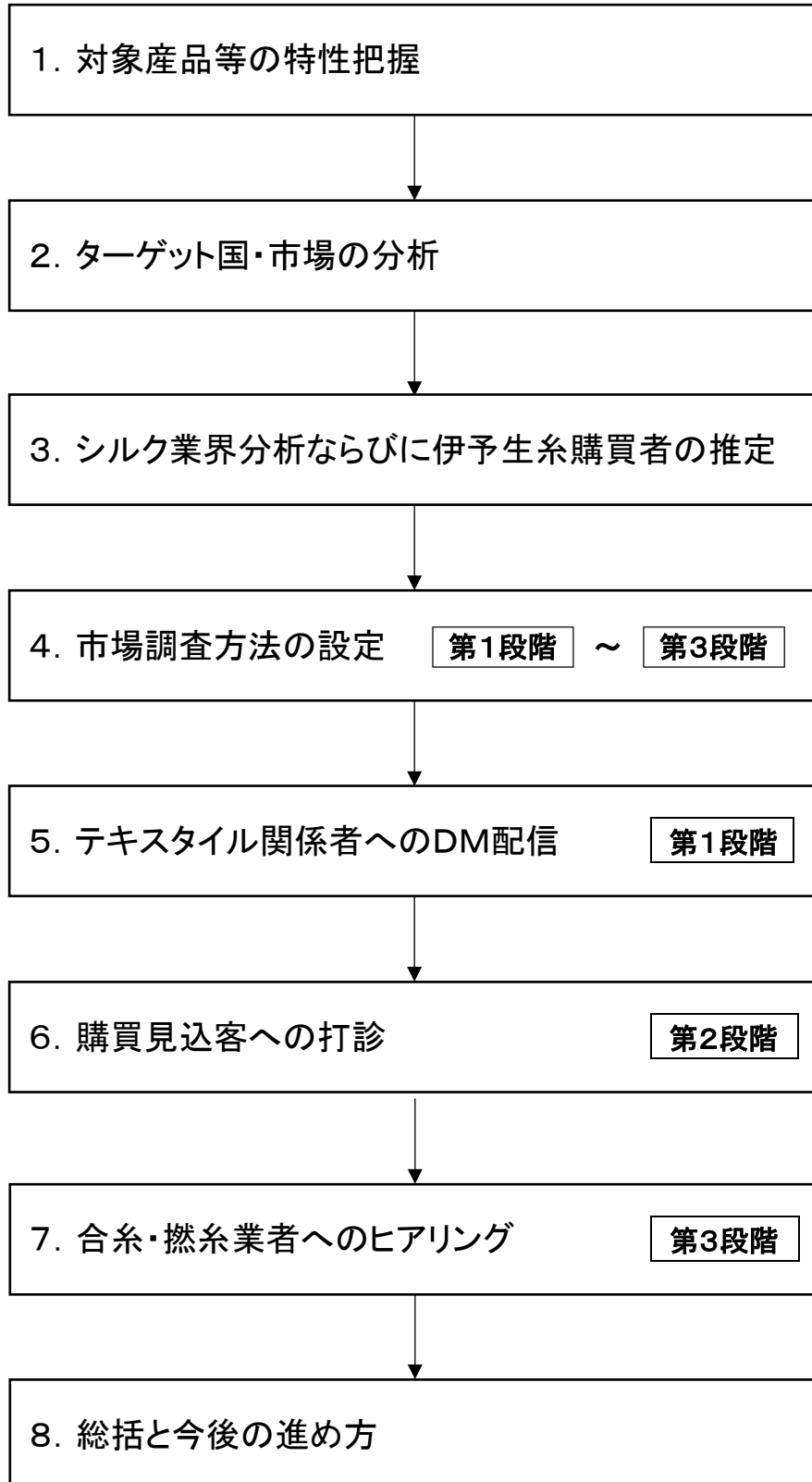


伊予生糸に関する欧州市場
「消費者・実需者ニーズの把握」業務
報告書

令和3年3月
合同会社 JEXPO

業務フロー



1. 対象産品等の特性把握

1-1. 産品

1) 取引対象の概要

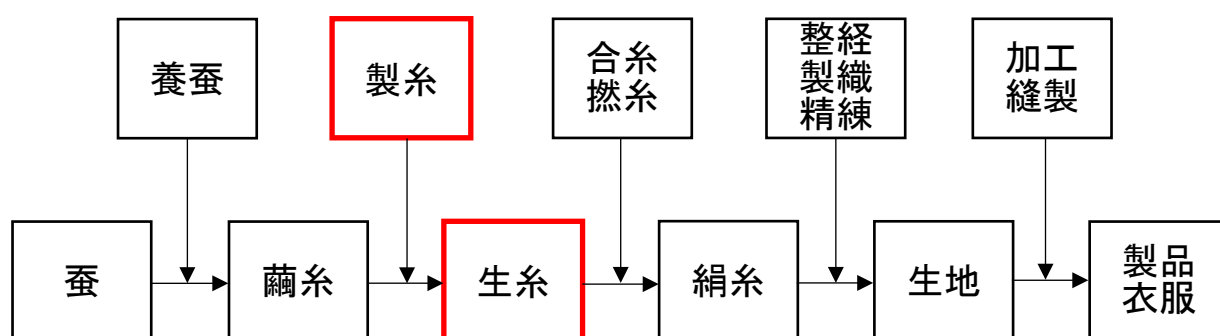
本業務の対象産品である「伊予生糸」について、欧州市場の市場獲得を目指す観点から、その特性を整理すると以下のとおりである。

産地現地ヒアリング: 9月15日 於 野村シルク博物館(密田館長 那須主任)

項目	内容
名称	伊予生糸
取引対象	生糸(一次加工)
供給可能量	100kg/年
最小ロット	1,000 g
サンプル	100 セット供給可能
希望取引価格	22,000 JPY / 1kg(税抜)
訴求ポイント	<p>高い細織度 → 絹糸の美しい光沢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常生糸 21 デニールに 7 本 ・伊予生糸 21 デニールに 10 本(約 1.4 倍) <p>多条繰糸・低速巻取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嵩高 通常生糸の 1.5 倍(軽さ 67%) <p>低温乾燥・無理な煮繭の回避</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質変性を防止 → 白度の高い色味 <p>最小ロットが小さい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国だと生糸 100kg～(撚糸後 10t～)が多い
ウイークポイント	<p>摩擦に弱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経糸として使うには、製織時に緯糸(往復するシャトル)が当たり、こすれるのに弱い(切れる、傷む)。国内生糸検査では不合格 → 緯糸にしか使えない(龍村でも緯糸にのみ使用) (ただし引っ張りには強い) <p>高額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国産生糸(5A:最高ランク6A) 25-60USD/kg が市場相場 <p>供給可能量が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加えて、大幅に増産できる予定がない (取引相手にとってビジネスとしての魅力に乏しい)

2) 「繭糸」から「生地」まで

蚕の繭糸から完成品(シルク製衣服等)になるまでには、ひじょうに多くの工程があり、同時に多くの事業者が関与する。このうち、本事業の対象事業者である野村シルク博物館が行っているのは、繭糸の一次加工である「製糸」である。そして製糸した結果、本事業の対象産品である「生糸」が生産される。こして、この生糸が、野村シルク博物館の取引対象物である。生糸は、いわば「素材」であり、生糸のままでは、製品(完成品)として市場に流通することはない。生糸から「生地」、さらには、「製品」(衣服等)が完成するまでの工程を概略で示すと、下記のとおりである。



生糸:繭からとった1本1本の繭糸(=蚕が吐いた1本の糸)を10本束ねたもの

合糸:2本以上の生糸同士を束ねること

撚糸:2本以上の生糸同士を撚ること

絹糸: (本報告書では、合糸・撚糸を終え、生地になる前の糸のことを絹糸と呼ぶ)

整経:経糸に使用するため、経糸同士を束ねるなどして揃えること

製織:経糸と緯糸を織機で織ること

精練:石鹼液などで絹糸からセリシンなどの不純物を除去すること

生地:絹糸を経糸・緯糸にして織ったもの

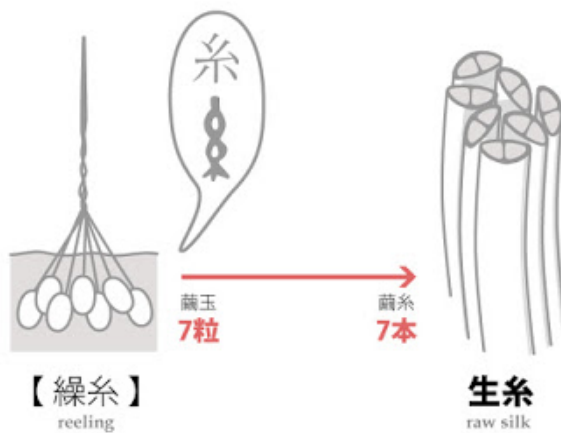
製糸

繭からとれる繭糸は、想像を絶するほど細い。繭糸の太さは、直径ではなく、9000m あたりの繭糸の重さ(織度:単位デニール D)で表現する。一般的な繭糸が約3デニール(9000m が3グラム)であるのに対し、伊予生糸は、さらに細く軽い約2.0~2.2 デニール(9000m が2.0~2.2 グラム)である。このことを「細織度が高い」という。

国内外の多くの養蚕地では、生糸の収穫量を増やして生産効率を高めるため、太い糸を吐く蚕(=デニール値を大きくする蚕)の品種改良を行ってきた。一方、伊予地域では、糸の品質にこだわり、吐く糸が細い蚕の品種(改良あけぼの)を採用している。これが伊予生糸の細織度が高いおおきな要因である。

繭糸は、そのままではあまりに細いため、繭糸同士を束ねて太くする作業を行う。これが「製糸」である。ここで、シルク業界で流通する生糸は、世界じゅうで規格が標準化されている。代表的なものは、21、27、31デニールである。一般的な生糸は、約3デニールなので、繭糸を7本束ねて21 デニールの生糸にする。

一方の伊予生糸は、約2デニールなので、繭糸を10本束ねて21 デニールの生糸にする。21 デニールで、ようやく髪の毛1本の太さの約半分になる。



伊予生糸の場合は
10粒(10本)で
21 デニール

なお、蚕が吐く繭糸のもともとの太さは、約2.0~2.2 デニールと幅があるので、国内では平均値 21 デニールという意味で「21中」と呼ぶことがある。

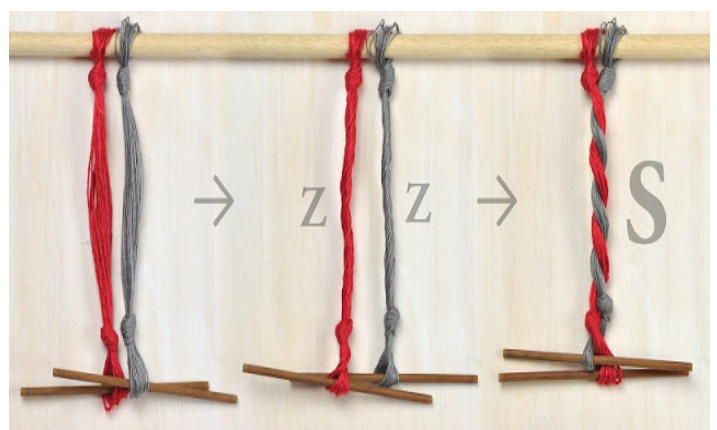
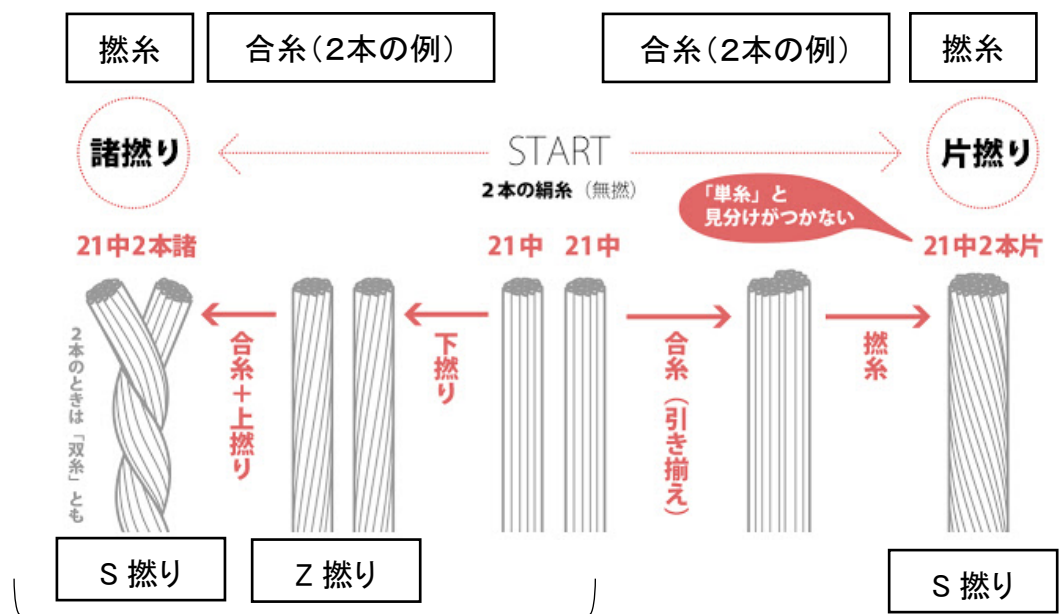
合糸・撚糸

繭糸を10本束ねた糸(=生糸)は、それでも、髪の毛1本の半分くらいの細さでしかない。つまり、いわゆる「糸」として使うには、まだまだ細すぎる状態である。そこで、複数の本数の生糸を束ねる作業を行う。これが、「合糸」である。ところが、合糸しただけの糸では、バラバラになってしまう。そこで、バラバラにならないよう、合糸した糸を捻る作業を行う。これが「撚糸」である。つまり、生糸は、合糸・撚糸を経て、1本の「絹糸」になる。

合糸する場合、その本数は、2本～数十本と幅がある。また、撚糸には、2種類ある。

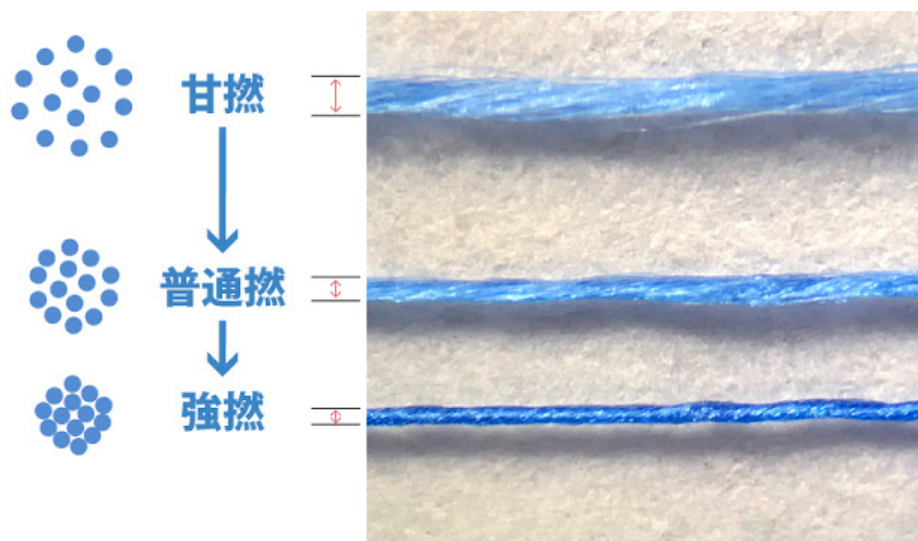
- 1回だけ撚糸する「片撚り」
- 2回(上撚り・下撚り)撚糸する「諸撚り」

また、撚りかける方向によって、Z撚り、S撚りの2種類がある。



さらには、撚糸の際の、撚数(1m当り撚糸する回数)を決める必要がある。
写真は、上から以下のとおり。

- 甘撚 (500 回転/m 以下)
- 普通撚 (500～1,000 回転/m)
- 強撚 (1,000 回転/m 以上)



一般論としては、強撚糸にするほど、糸に強度がもたらされる反面、光沢は少なくなるといわれている。なお、京丹後で有名な「縮緬(ちりめん)」は、強撚糸の特性を生かした糸を使った織物である。

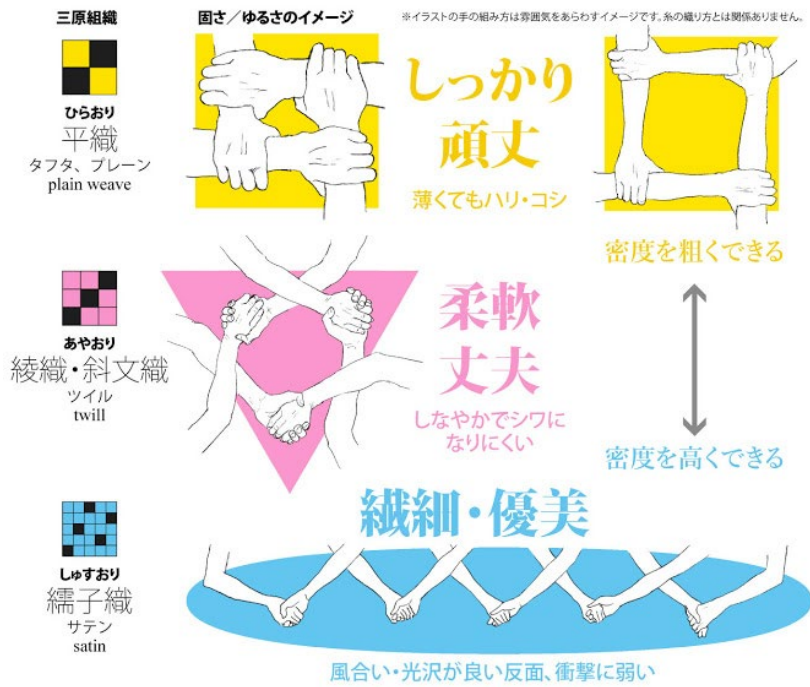
つまり、どのように合糸・撚糸するかによって、仕上がる絹糸の性質は変わってくる。当然ながら、その後に仕上げる生地^①の風合い、光沢などにも影響を与える。

なお、本報告書では、生糸から、合糸数(織度)・撚糸方法・撚糸数の仕様を指定し、仕上げる絹糸をデザインする人材のことを、絹糸デザイナーと呼ぶ。

製織

「生地」は、絹糸等を経糸と緯糸に使い、織機で「織る」ことで得られる。
 その際の、経糸と緯糸の組合せは、平織・綾織・縹子織の3種類がある(=三原組織)。
 ジャガード、デニム、ヘリンボーン、モスリン、クレープなどの織り方の呼称は、総じて、三原組織の織り方のいずれかをベースにしたものである。

三原組織の役割や性質の違いのイメージ

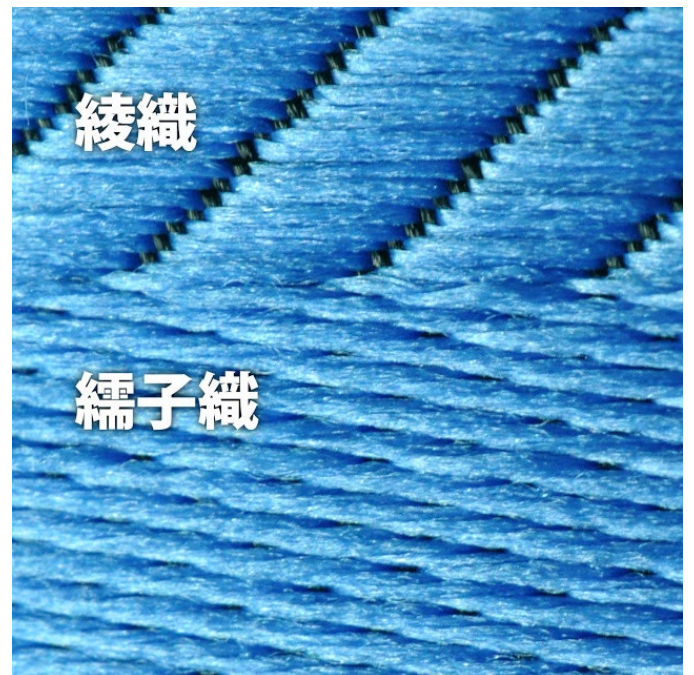
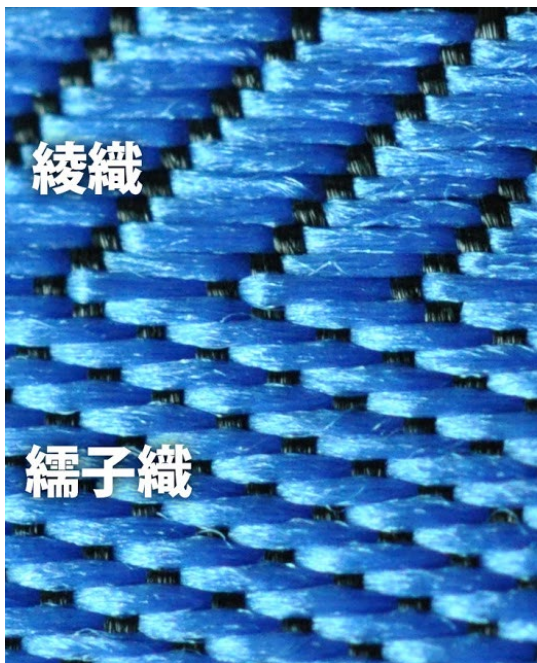
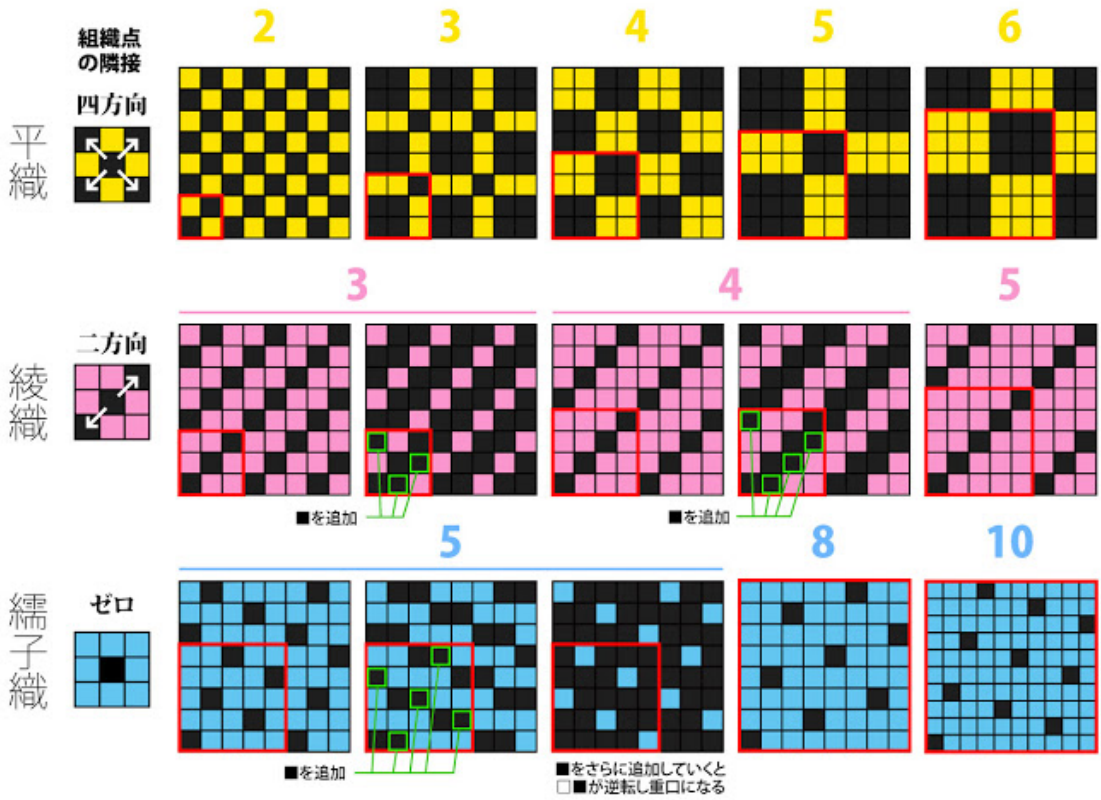


三原組織	最小の完全組織	組織点の隣接	生地例	組織図
平織	2	四方向		
綾織	3	二方向		
縹子織	5	ゼロ		

三原組織のどれを選ぶか、さらには、経糸・緯糸の交差のパターンに変化を加えることにより、生地がもつ表情はまったく異なるものになる。

三原組織とそのバリエーションの例

□ = 完全組織



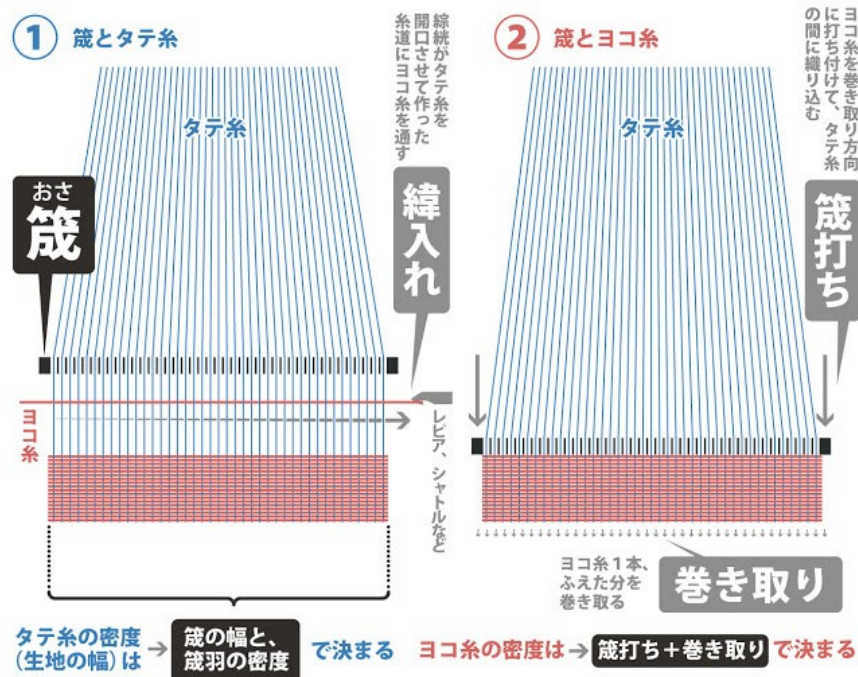
整経・糸密度

製織にあたっては、織機に、経糸をあらかじめセットする必要がある。この作業を「整経」と呼ぶ。言い換えると、整経に先立っては、経糸同士の1本1本の間隔、つまり糸密度を決めておく必要がある。一般的なシルク着物として、織幅約 38cm に対し経糸を 1,052 本使って織る場合を例にとると、糸密度は、 $1,052/38 = \text{約 } 28 \text{ 本/cm}$ 程度となる。

参考までに、洋装の場合の織機の横幅は、120～140cm と、着物用より幅広である。

一方の緯糸の糸密度は、経糸の間を「シャトル」などを通して往復させたのち、「箠打ち」(「鶴の恩返し」で鶴が機織りする際の“バタン、バタン”のこと)で打ち付ける強度を変えることで、調整する。すなわち、強く打ちつけると緯糸の糸密度が高くなる。

当然ながら、糸密度が低い生地は、疎で軽やかな仕上がりになり、糸密度が高い生地は、密で重厚な仕上がりになる。



なお、本報告書では、絹糸から、経糸・緯糸の太さ(織度)、三原組織の構成、織柄の選定、糸密度などの仕様を指定し、仕上げる生地をデザインする人材のことを、生地デザイナーと呼ぶ。

精練

「シルクのような肌触り」といった表現で知られるシルクたる繊細さ、優美さは、生糸あるいは絹糸に付着するセシリンと呼ばれる不純物を取り除く作業のあと、ようやく現れる。この作業は「精練」と呼ばれる。言い換えると、出荷時の生糸は、精練されておらず、「ごわごわ」とした質感のままである。これは、伊予生糸に限らず、すべての生糸に共通である。このため、生糸だけを見て、どのような衣服に仕上がるかを目利きできる人材は、ほぼいない。つまり、生糸の現物を見たり触ったりしただけでは、ほかの生糸とは、まず見分けがつかない。野村シルク博物館によれば、世界じゅう探しても数限られているだろうとのこと。

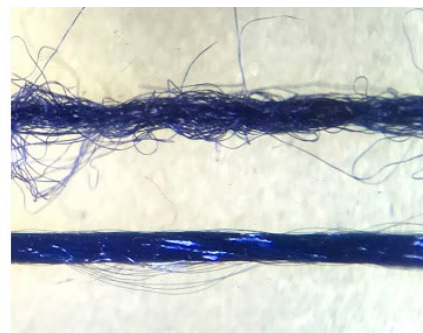
なお、博物館自身は、絹糸・生地および製品を製造・加工するための施設や技術を有していない。取引対象となるのは、あくまでも、生糸のみである。また、国内シルク関連事業が衰退するなか、絹糸・生地の製造を外注できる国内の取引先をもっていない。つまり現状では、新たな絹糸や生地を企画・開発することができない状況である。

3) 訴求ポイント

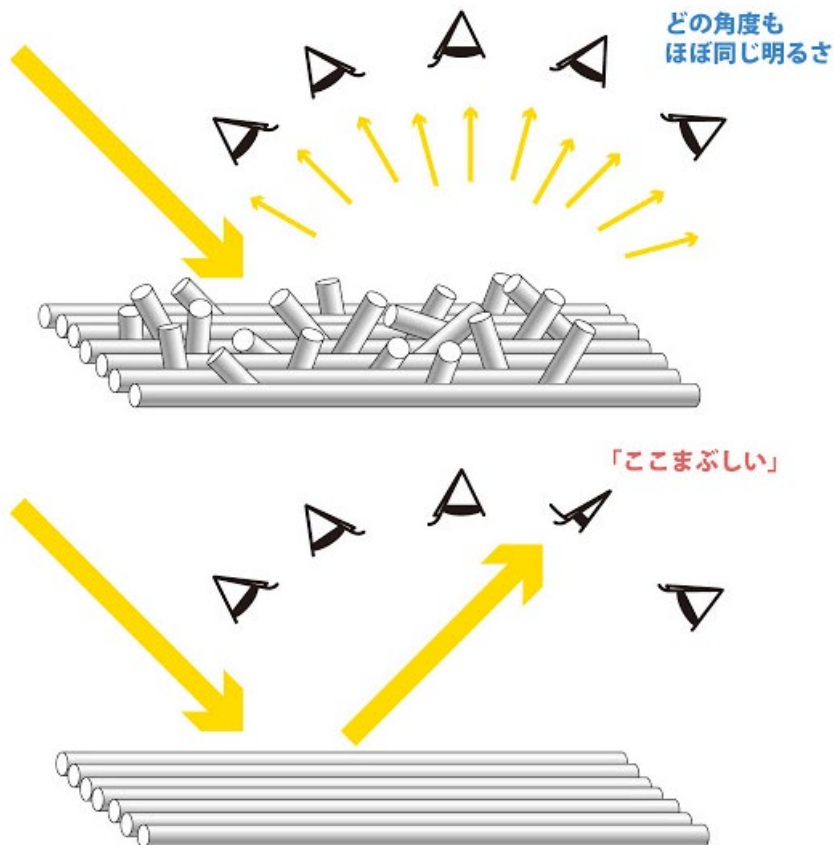
高い細繊度と美しい光沢

シルクは、天然繊維では唯一のフィラメント系(長繊維系)である。一方、綿・麻・ウールなどはスパン系(短繊維系)であり、短い糸同士をからめあわせること(=紡績)で、1本の糸に

スパン糸
フィラメント糸



光学的には、細い長繊維系がたくさん集まるほど美しい光沢が生まれると言われている。女性の髪で例えると、長い髪が梳かれて一方向に揃っていると、繊維が揃った状態になり、ある角度の光を正反射して「ピカッ」と輝く状態が生まれる。この原理と、シルクの光沢が美しいのは、同じ原理とされている。つまり伊予生糸は、まずフィラメント系であること、そしてそのなかでも、同じデニール値あたりの糸数が、ほかの生糸と比べて約 1.4 倍がある分、一定方向に(目の方向に向かって)反射する光の光量が増える。これが、伊予生糸が「白い椿」と称されるほど光沢が美しい理由のひとつとされている。



多条繰糸・低速巻取

繭とは、蚕の幼虫が1本の糸を吐き続けて作ったものである。すなわち、繭の外周のどこかに、その始点である「糸口」がある。前述の「製糸」とは、具体的には、1つ1つの繭の「糸口」を見つけ、さらにその10個分を束にしてまとめる作業である。この作業を特に「繰糸」と呼ぶ。

伊予地域で行われている「多条繰糸」とは、「糸口」を肉眼でひとつひとつ見つけ、見つけ次第、人間の手で繰糸機に「給繭」する手法を指す。そして10本の繭糸を束ねて製糸する。このため、多条繰糸機の巻取回転速度は、人間の作業能力にあわせて100～120回転/分と低速に抑えられている。



一方、現代主流となっている自動繰糸機には、繊度感知器と自動給繭装置が備わり、繰糸が自動化されている。この結果、繰糸速度は、多条繰糸の3倍以上である。

反面、自動繰糸機は、繭糸を高速で巻き取るために無理な力をかけ、糸を強く引っ張ってしまう。他方、多条繰糸の場合は、無理な力をかけないため、柔らかいままの糸ができる。この結果、嵩高(同じ重さで比較した場合のボリュームが通常生糸の約1.5倍、軽さで比較すると67%)で軽量感のある生糸に仕上がる。



通常生糸

伊予生糸

同じ重さで比較した場合のボリュームが通常生糸の約1.5倍(嵩高)

低温乾燥・無理な煮繭の回避

ほとんどの生糸産地では、大量の繭を短時間で殺蛹・乾燥するために高温での熱風乾燥が行われる。と同時に、一方では、高温処理が影響し、繭糸に含まれるタンパク質が変性したり、変色したりする。

一方の伊予生糸は、生の繭の状態を極力維持するため、低温乾燥方式を採用している。これにより、無理な煮繭を避けることができ、「白い椿」と称されるほど白度の高い色味のない生糸に仕上げることができる。



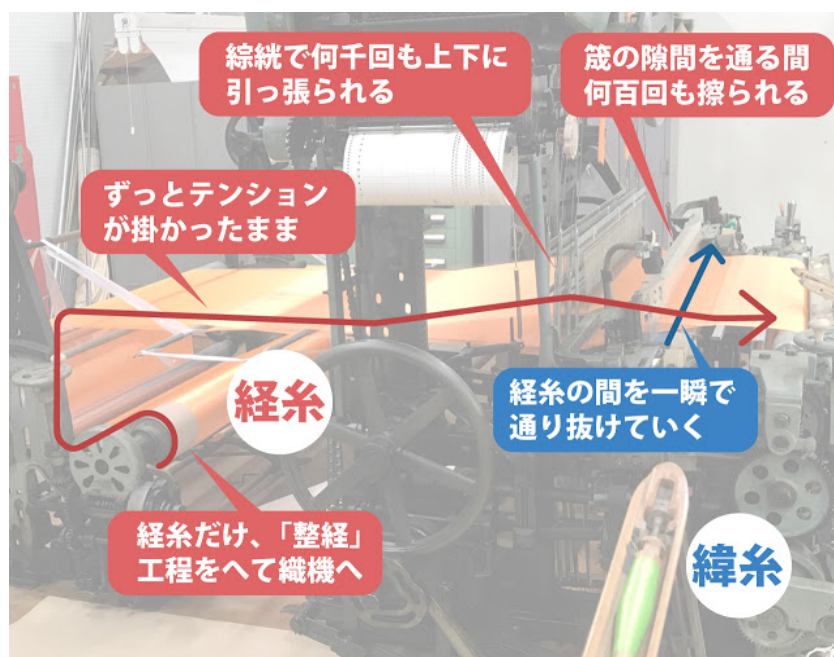
最小ロットが小さい

中国などの大量生産地と取引する場合、生糸の最小ロットは、100kgを超えるなど総じてひじょうに大きくなる。このため、「少量の生糸がほしい」中小・零細・個人は、生糸を入手しづらくなっている。この点、伊予生糸は、最小ロットが1kgと小さいことが、アピールポイントのひとつであるといえる。

4) ウィークポイント

摩擦に弱い

経糸は、整経している最中、強く引っ張られ、高いテンションがかけられている。また箄やシャトルが何度も通過する際に、(バイオリンの弦が弓でこすられるように)繰り返し摩擦を受ける。経糸は、これらに耐えられるよう、丈夫である必要がある。また、経糸の途中で、抱合不良(燃糸した糸が、きちんと捻れていないなどの理由で、ほどけたり切れたりすること)などがあつたりすると、それが原因で織機が停止してしまうなどのトラブルにつながることもある。



このようなことから、生糸の品質には、第一義的には、丈夫であること、抱合の状態が良いことが求められる。そもそも、このクオリティが高くあつてこそ、きちんと「織る」ことができるのである。光沢や嵩高さなどは、第一義的な品質を備えたうえで、プラスアルファとして求められる品質である。

この点、伊予生糸は、残念ながら、丈夫さ、抱合の程度においては、良好な評価は得られていない(国内生糸検査結果:次頁参照)。伊予生糸は、このような要素もあり、国内の取引先においては、緯糸にのみ使用されている。経糸には使われることは、ほぼない。

とはいえ、検査結果にもあるとおり、伊予生糸の抱合不良は、必ずしも欠点だけだとは言えない。抱合不良は、同時に、嵩高さなどをもたらす重要なポイントでもあることを念頭に入れておく必要がある。

2003年春「あけぼの」生糸検査報告

農林水産消費技術横浜センターに依頼

- 織度—21中／0,663g／
- 製造（株）野村町地域振興センター／2003,9,14
- 繰糸方法
 - 繰糸機—多条機
 - 製糸用水—水道水
 - 繰糸回転数—120回／分
- 原料繭
 - 生産者—松下誠
 - 蚕期—2003春
 - 蚕品種—あけぼの
 - 繭の保存方法—冷蔵（生繭）

節

- 節点—96,25 等級4A
 - * 欠点までゆかないが、小節が平均して多い。
 - * 大中節等ひどい節はない。

織度

- 織度偏差—1,8デニール 等級2A
- 織度最大偏差—4,5デニール 等級4A
 - * 太いのが万遍なく出る。
- 平均織度—19,86 デニール 不合格
 - * 平均では20,18デニールだが、湿度11%で換算すると19,86と細くなる。
 - * 生繰り糸の特徴か？

糸むら

- 一種8個—大変よい成績
 - * 繰糸のフォローがよい、感知機に頼らず眼で見ても確実に繭を足している。

抱合

■抱合－76,5回

- *21中では100近い数値がよい成績で、90以上でまあまあが一般的判断。
- *一般的には20の差1つ出る程度だが、「あけぼの」は20以上が3つ、30以上が1つ出ている。
- *これは観点を変えれば、「ふんわり、柔らかく、風合いがよい」という事になる。

強力及び伸度

■平均伸度－21,2% 等級5A,6Aレベル

たてのひっぱりに対しては大変強い。

検査官の「あけぼの」の感想

- *小さな総を作るため結んだりする時に切断が多かった。
- *たての引っぱりには強いが、よこにこすられるのに弱いかもしれない。
- *これは抱合が弱いからかもしれない。
- *抱合が弱いのは毛羽立ちの原因になるかもしれない。
- *ただ抱合が弱いのは、多条線糸の特徴であり風合いのよさという長所でもあるので、これを一概に欠点とはみなせない。
- *触っていて腰がないと感じた。セリシンが少ないからか？油剤を使用していないからか？

検 査 成 績 書

YC 14号

平成16年4月27日

殿

独立行政法人農林水産消費技術センター横浜センター所長



平成16年4月19日 付けで依頼のあった検査の結果を次のとおり通知します。

- 1 試料名 生 糸
- 2 検査番号 Y 0 1 3
- 3 検査方法 生糸の依頼検査マニュアル(平成15年9月19日15本消技第979号)により行った。
- 4 検査成績
 - 検査年月日 平成16年4月27日
 - 検査織度 21 デニール
 - 検査料糸数量 10 かせ

生 糸 の 節・小 節		個 数
種 類		
特 大 節		0
大 節	大 ず る 節	
	も つ れ 節	
	よ り つ け 節	
	大 つ な ぎ 節	
	大 び り 節	
合 計		0
中 節	小 ず る 節	6
	中 つ な ぎ 節	
	中 び り 節	
	大 わ 節	6
さ け 節		
合 計		12
100 点パネル		
95 "		30
90 "		21
85 "		7
80 "		2
75 "		
70 "		
65 "		
60 "		
55 "		
50 "		
40 "		
30 "		
20 "		
10 "		
節	総失点(60 パネル)	1.50 点
	対150パネル失点	3.75 点
	節 点	96.25 点
小 節	平 均 点	91.58 点
	劣 等 平 均 点	85.41 点

再 繰 切 断		強 力 及 び 伸 度	
切 断 回 数	か せ 数	強 力	4.16 グラム
		伸 度 %	料 糸 本 数
		22	4
		21	4
		20	2
合 計			
総 切 断 数	/ 回	合 計	10
再 繰 時 間	/ 分	平 均	21.2 %

織 度 む ら	
(1 1 2, 5メートル織度糸)	
デニール	試 料 本 数
15.5	2
16.0	1
16.5	
17.0	5
17.5	2
18.0	8
18.5	16
19.0	14
19.5	24
20.0	15
20.5	17
21.0	18
21.5	8
22.0	7
22.5	5
23.0	6
23.5	6
24.0	6

糸 む ら	
糸 む ら 一 類	8 個
糸 む ら 二 類	0 個
糸 む ら 三 類	0 個

再 繰 整 理
/

生 糸 の 性 状			抱 合
色 相	光 沢	手ざわり	
/	/	/	76.5 回

ファイラメント数 / 本

ヤ ン グ 率 / g/d

水 分 / % エクスフォリエーション

平 均 / % 等 級 点 / 点

最 高 / % 平 均 点 / 点

最 低 / % 劣 等 平 均 点 / 点

練 減 / %

備 考

5 検査職員 山口 茂

合 計	160
平 均	20.18 デニール
織 度 偏 差	1.80 デニール
織 度 最 大 偏 差	4.5 デニール
平 均 織 度	
(正 量)	19.86 デニール

高額

伊予生糸の取引希望価格は、22,000 JPY / kg としている(野村シルク博物館にヒアリング済)。この価格は、世界でも高価といわれる国産生糸(約 4,000~5,000 JPY / kg)の4~5倍の価格である。また現在、世界のシルク相場を実質的に支配している中国産生糸(6A:最上級ランク)(60-70EUR/kg)の2.4~2.8倍、5Aランク(25-60USD/kg)の3~8倍の価格である。

供給可能量

伊予生糸の供給可能量(総生産量のうち、取引先が未定のもの)は、約 100kg である。世界の生糸貿易事情に照らせば、1回の取引量が1トンを超えることが日常であることから、これと比べれば、著しく小さい。仮に、ディストリビューターが供給可能量全量(220 万円)を成約させ、手数料として取引価格の 50%分の利益を得たとしても、その額は110 万円にとどまる。世界の生糸産業における取引額が、輸出ベースで約 449 百万ドル(2018 年)であることと比べると、ディストリビューターにとって、魅力的な商材であるとは言い難い。

あるいは、取引相手が供給可能量全量を直接購入(220 万円)し、その後、合糸・撚糸・製織・精練・染色・加工・縫製を外注したりしながら、最終製品を完成させ、購入価格に仮に5倍の付加価値をつけ、全量を完売して売上(1,100 万円)を計上したと得たとしても、見込める利益の最大額は、880 万円にとどまる。当然ながら、最終的な収益は、これから外注費、一般管理費、歩留、売れ残りなどが差し引かれ、さらに大幅に小さくなる。このような観点からも、取引相手にとっては、ビジネス面において魅力的な商材であるとは言い難い。

くわえて、野村シルク博物館へのヒアリングによれば、仮に供給可能量全量の取引が成立し、さらに次年度以降も、取引量の増大が見込めるような状況になったとしても、設備を増強したり人員を大幅に増員したりして、増産に対応するのは短期間のうちにはできない、とのこと。このことは、取引見込客にとっては、取引を継続したとしても、将来においてそれを拡大することは期待できないことを意味する。この点からも、取引相手にとっては、ビジネス面において魅力的な商材であるとは言い難い。

5) 取引条件の整理

取引希望価格

22,000 JPY / kg(税抜:前記のとおり)

最小ロット

伊予生糸の海外向け取引の最小ロットは、野村シルク博物館と協議し、1,000g と設定した。これは、生糸 180 グラム分をひとくりにしたもの(1総:かせ)の6総分に相当する。

サンプル提供可能量

伊予生糸の海外向けの市場調査や取引先獲得のための営業資料として、野村シルク博物館と協議し、下記写真の無料サンプルを 100 セット用意することとした。

なお前述のとおり、サンプルの受取人は、生糸(Raw silk)だけでは完成品の質感を感じることができないことから、参考として絹糸(Silk)を添えることとした。



RawSilk

種類	重さ(g)
21d	0.525
27d	0.675
31d	0.775

Silk

種類	重さ(g)
21d×12 252d	0.28
31d×15 465d	0.36

1-2. 事業者(野村シルク博物館)

1) 海外取引経験

なし

2) 外国語ホームページ

なし

なお、日本語ホームページがあるものの、コンテンツなどはきわめて限られている。その認知度は高いとはいえ、アクセス・HPからの問合せ等は、ほとんどない状況である。



3) 外国語対応

英語等に対応できる担当者はいないとのこと。

4) 営業資料

実質的には、既存の国内顧客からの発注を継続して受けるのみに留まっている。国内においても、新規の販路開拓等が行えていない。したがって、販促資料はわずかにあるものの、商品リスト、価格表、見積書・契約書のひながた、伊予生糸を使った製作事例写真集、生糸を使った生地の実物サンプル、合糸・撚糸・製織の仕様による生地仕上がり具合の説明資料など、商談・成約に必要な資料がまったく準備されていない。

5) 販促費

民間企業であれば、販促費の枠をもっており、それを元手に販促活動を行うのが常識である。ところが、自治体に母体をおく野村シルク博物館では、西予市の予算措置がベースにあるため、融通がきく販促費をもってない。例えば仮に、有力な取引見込先が見つかり、サンプルを送り届けることが急きょ必要になったとき、送料を工面することができない。同様に、取引見込先が、合糸・撚糸・製織の試作、精練、染色、紵以外の形態(コーン、ボビンなど)での納品などを希望した際、そのために外注が必要になる場合などには、その出費を工面することができない。交渉に翻訳・通訳が必要になる場合も、その費用を捻出できない。

以上をふまえると、現状のままでは、仮に海外の見込客が現れたとしても、その相手とネゴシエーションしたりしながら商談を進め、成約に結びつけるまでの手段と交渉スキルがない。したがって、そのような交渉を必要としないよう、取引条件がきわめて明確な案件をピンポイントで発掘する必要がある。つまり、いわゆる「御膳立て」が必要であり、この点においては、成約を実現させるまでのハードルはひじょうに高い。

2. ターゲット国・市場の分析

シルクを含むテキスタイル製品の流通は、すでにじゅうぶんグローバル化されている。しかも、伊予生糸の供給可能量が 100kg と限られていることを踏まえれば、本事業の対象国の選定にあたっては、伊予生糸を使用して製造した最終製品を購買したい最終消費者がどの国にいるか、といった観点からの分析をする必要はほぼない。

むしろ、養蚕や生糸生産がかつてさかんであった欧州において、現在は、それらがほぼ衰退したにも関わらず、オートクチュール、ハイブランドなどに代表される巨大なテキスタイル市場が厳然と存在し続けている点に着目すべきである。つまり、現在、どの国が生糸を輸入し、その後、いったいどのようにして絹糸・生地加工し、そして最終的に製品化しているかを分析することが重要である。

本業務では、以上のような観点にたち、対象国の選定を行う。

2-1. 世界の国別生糸生産量

生糸の国別生産量は、以下の通りである。世界の生糸生産高の約 82%は、中国が占めている(出展:Global Silk Industry)。

Country	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
Bangladesh	40	38	42.50	43	44.5	44	44
Brazil	770	558	614	550	560	600	650
Bulgaria	9.4	6	8.5	8.5	8	8	9
China	115000	104000	126000	130000	146000	170000	158400
Colombia	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0
Egypt	0.3	0.7	0.7	0.7	0.82	0.83	1.2
India	21005	23060	23679	26480	28708	28523	30348
Indonesia	20	29	20	16	10	8	4
Iran	75	120	123	123	110	120	125
Japan	54	42	30	30	30	30	32
North Korea	-	300	300	300	320	150	365
South Korea	3	3	1.5	1.6	1.2	1	1
Philippines	1	1	0.89	1	1.1	1.2	182
Syria	0.6	0.5	0.5	0.7	0.5	0.3	0.25
Thailand	655	655	655	680	692	698	712
Tunisia	0.12	3	3.95	4	4	3	2
Turkey	18	22	22	25	32	30	32
Uzbekistan	940	940	940	980	1100	1200	1256
Vietnam	550	500	450	475	420	450	523
Madagascar	16	16	18	18	15	5	6
Total	139100.02	129661.80	152845.64	159737.10	178057.62	202072.83	192692.45

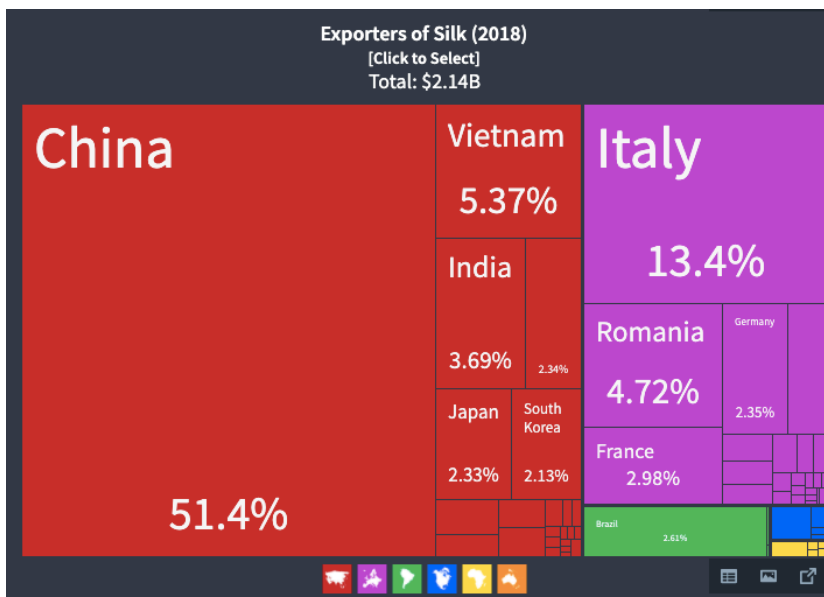
Source: Global Silk Industry .Statistics International Sericultural Commission 2016. <http://inserco.org/en/statistics>

2-2. 世界のシルク貿易

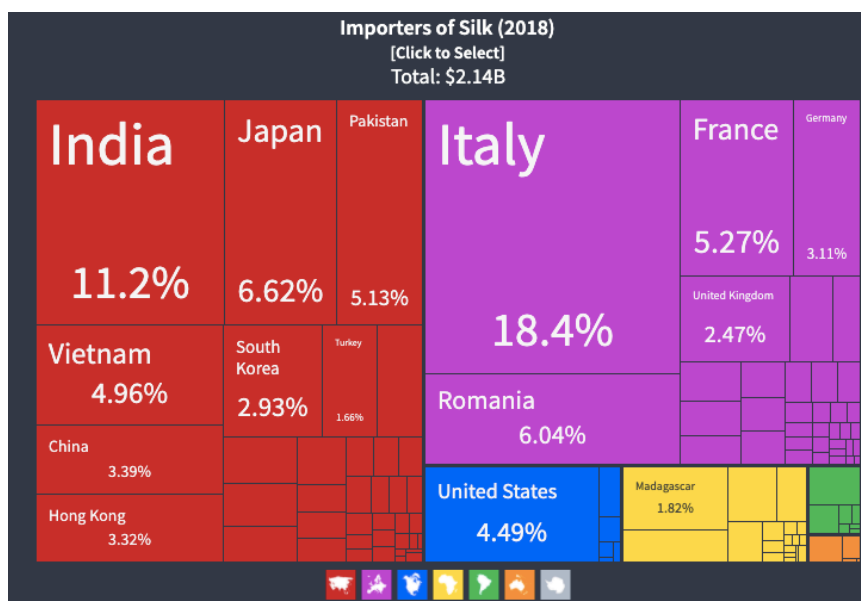
欧州における生糸市場に先立ち、まず世界におけるシルク貿易取引を概括する。

The Observatory of Economic Complexity (OEC)によれば、2018年における世界のシルクの貿易額は、21.4億USドル(約2230億円)である。

輸出額を国別に見ると、圧倒的トップは中国であり、世界取引額の過半数以上の51.4%を占める。これに、イタリア、ベトナム、ルーマニア、インド、フランス、日本が続いている。



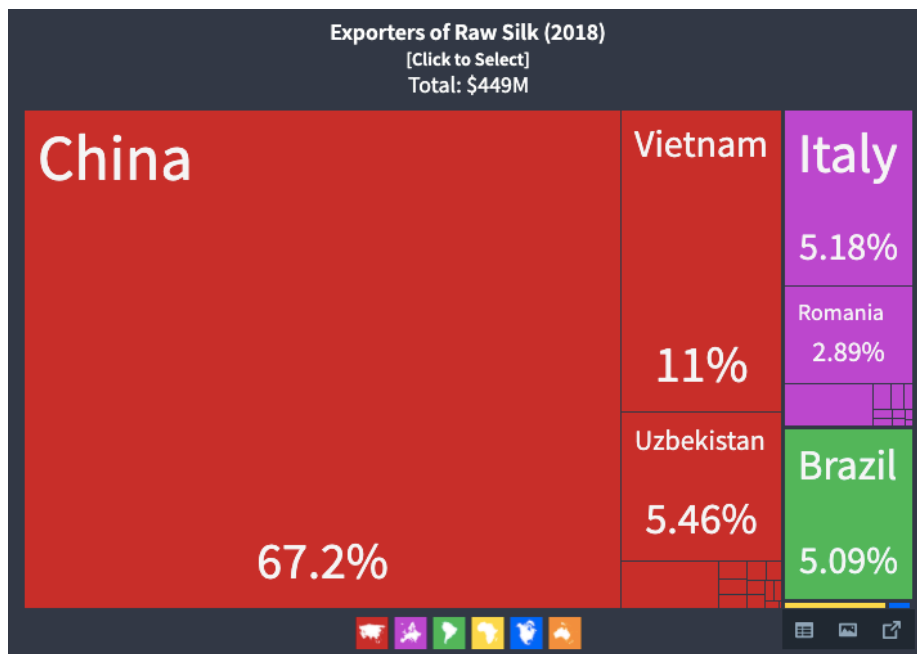
一方、国別輸入額を見ると、イタリアがトップであり、これに、インド、日本、フランスが続いている。



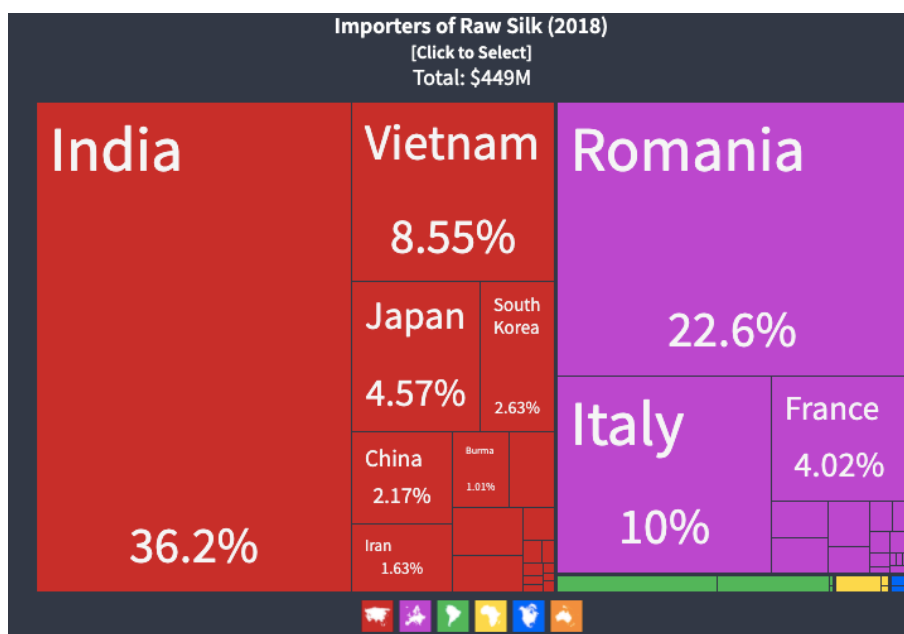
2-3. 世界の生糸貿易

続いて、世界の生糸の貿易取引額をみる。

世界の生糸の貿易額は、4.49 億 USドル(約 467 億円)である。圧倒的トップは中国であり、世界取引額の 67.2%を占める。これに、ベトナム、ウズベキスタン、イタリア、ルーマニアが続いている。



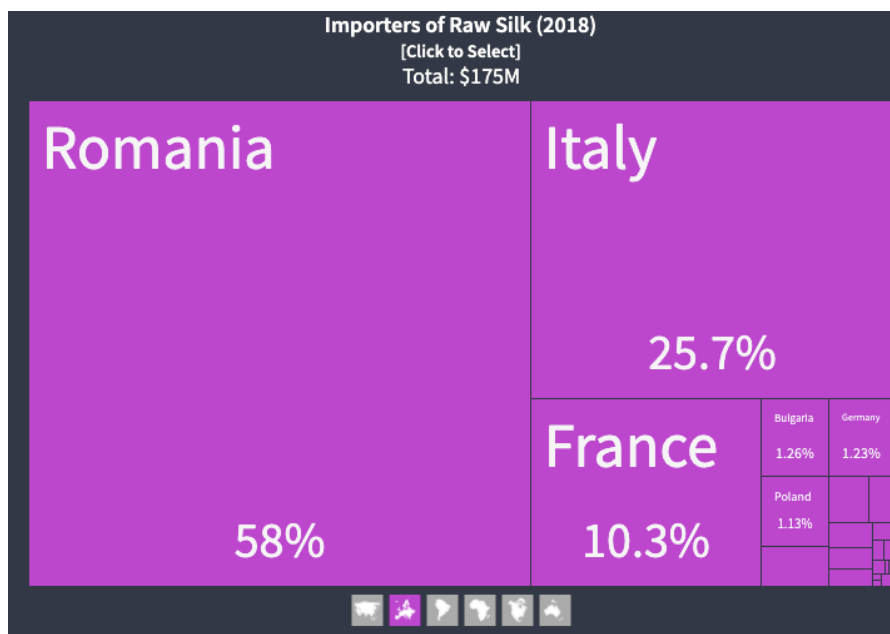
一方、国別の輸入額を見ると、インドがトップであり、これに、ルーマニア、ベトナム、イタリア、フランス、日本が続いている。



2-4. 欧州の生糸貿易

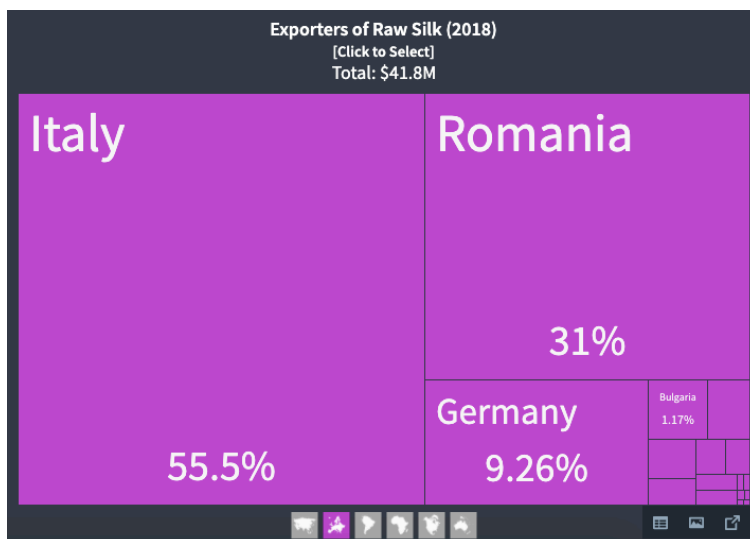
さらに、ヨーロッパにおける生糸の貿易取引額をみる。

輸入額がもっとも多い国はルーマニアであり、これにイタリア、フランスが続いている。



世界の国別生糸生産量でも言及したとおり、現在、欧州においては、商業的な生糸生産は、ほとんど行われていない。ところが、生糸の輸出額は、統計上では、イタリア・ルーマニアの両国の輸出額が大きくなっている。

これは、イタリア・ルーマニア両国が、それぞれ、いったん中国等から輸入した生糸を、撚糸等をする段階で、両国間で年に\$20M 程度、相互に融通させているためである。この取引額が欧州における生糸取引額の過半をしめている。



また、イタリアでは、一部に、国内での養蚕・生糸生産を復活させる動きが始まっている。例えば、下記の Serinnovation 事業体は、完全イタリア産生糸の供給を行っている。EUでの販売価格は、中国産の最高品質クラスの生糸の 60~70 EUR/kg と比較して、約 600EUR/kg とほぼ 10 倍の価格差があるものの、「完全イタリア産」をセールスポイントに、販路拡大を狙っている。繭糸の販売価格は、12~18EUR/kg。

SERINNOVATION

Il primo Gruppo Operativo
sulla sericoltura in Italia

SCOPRI DI PIU'

INNOVAZIONE, QUALITÀ, TRACCIABILITÀ IN GELSIBACHICOLTURA PER LO SVILUPPO DI FONTI INTEGRATIVE DI REDDITO PER LE AZIENDE AGRICOLE

FEAR FONDO EUROPEO AGRICOLO PER LO SVILUPPO RURALE: L'EUROPA INVESTE NELLE ZONE RURALI

Regione del Veneto PSR VENETO 2014-2020

2-5. 対象国の選定

これらと各種文献調査より、世界および欧州における、シルクおよび生糸についての貿易取引について、以下のトレンドが読み取れる。

世界におけるシルク生地の貿易額は約 2230 億円と、生糸の貿易額 467 億円を大きく上回っている。世界におもに流通しているのはシルク生地であり、素材としての生糸は、その一部に過ぎない。

そして、世界に生糸を供給し、席卷しているのは、中国である。市場における販売価格の決定にも大きな影響力をもっている。そして中国は、生糸だけでなく、より付加価値のあるシルク生地の生産までを中国国内で行い、それを世界中に輸出している。つまり、中国は、養蚕から、生糸・絹糸そしてシルク生地まで、一貫して生産できる体制を充実させ、シルク市場全体を席卷している。

一方、欧州諸国では、テキスタイル業界は、シルク以外の化学繊維などを主体とした大量生産産業にシフトしている。そのなかにおいて、シルク関連の設備・技術・人材などは、旧式なまま、ごく一部に現存するにとどまっている。この状況は、日本と同様である。そのため、生糸ではなく、シルク生地を中国等から輸入し、それを使ってデザイン・加工・縫製等を行い、衣服等最終製品に仕上げるプロセスがメインとなっている。そして、そのほとんどは、欧州諸国が中国等にシルク生地の仕様・品質等を指定して生産させたものを輸入していると予想される。

今回対象国として想定するイタリア、フランス、イギリス、スイスのうち、このような貿易取引に注力している国は、イタリアとフランスの2国であるといえる。

このうち、イタリアは、前述のとおり蚕から自国生産化する動きがあるのに加え、生糸をむしろ輸出している国でもある。このような状況をふまえれば、日本からの新規参入は難しい可能性が高い。

一方のフランスは、諸外国から生糸を輸入し、それを最終製品に仕上げる基本スタンスは当面変わらないと予想する。また、フランスは、croiseur de fils(絹糸・生地デザインを行う専門職)、matériauthèque(新しい素材を収集・発掘し、企業やデザイナー等に提案する職業)、prescripteur(新しい素材の新たな活用方法を自ら発想・デザインする職業)などの専門職が確立している。

イタリア・フランス両国ともに、自国で絹糸および生地を生産できる体制が、シュリンクするか旧式のままである状況であることは同様である。このような条件を踏まえれば、croiseur de fils、matériauthèque、prescripteurなどの専門職を通して、伊予生糸の販路を見つけていくことが、ひとつの手法として考えられる。



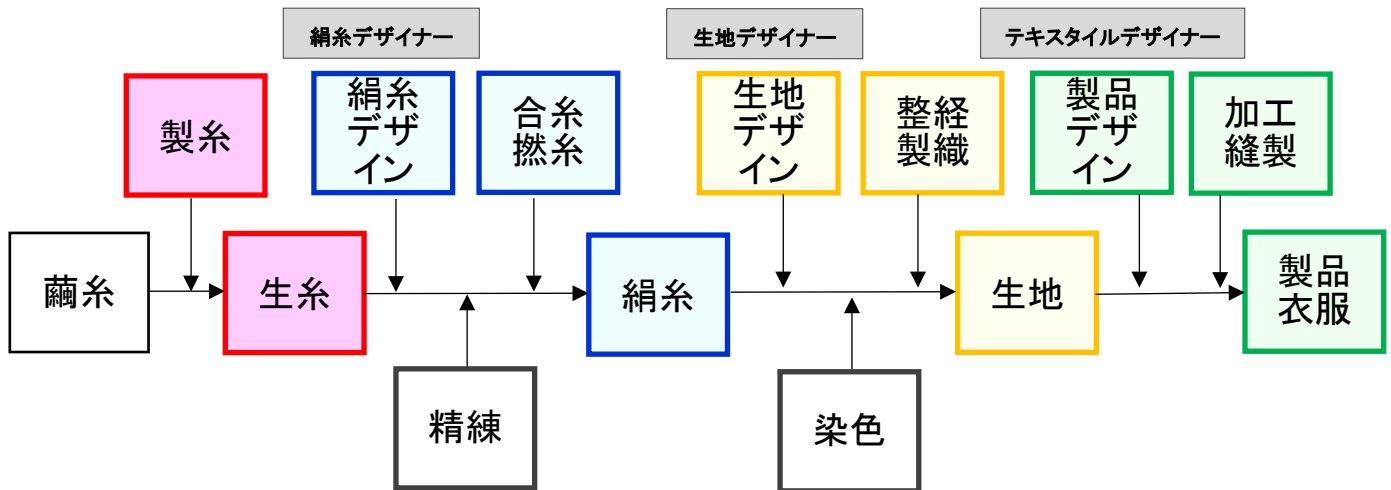
croiseur de fils、matériauthèque、prescripteurの事務所例

以上をふまえ、本事業では、フランスを対象国とする。

本事業の対象国 フランス

3. シルク業界分析ならびに伊予生糸購買者の推定

3-1. フランスにおける典型的なテキスタイル製造工程



生糸 : 繭からとった1本1本の繭糸を10本(21デニール)束ねた(製糸)したもの
絹糸デザイン : 織度(合糸数:デニール数)、上撚り・下撚り、撚糸数を決めること
合糸 : 2本以上の生糸同士を束ねること
撚糸 : 2本以上の生糸同士を撚ること
絹糸 : 本資料では、撚糸を終え、生地になる前の糸のことを絹糸と呼ぶ
 絹糸のままの状態、刺繍糸などとして最終製品になるケースもある

生地デザイン : 経糸・緯糸の素材・太さ、織の種類(平織・綾織・朱子織)、織パターン(ジャガード・モスリン・クレープ・ジョーゼット等)、糸密度を決めること
整経 : 経糸に使用するため、絹糸を整経機にセットすること
製織 : 経糸と緯糸を織機で織ること
生地 : 絹糸を経糸・緯糸にして織ったもの

製品デザイン : ドレス・スカーフ等最終製品の素材・外形・寸法等をデザインすること
加工縫製 : 生地等を加工・縫製等して最終製品を仕上げること
製品衣服 : 完成した最終製品

精練 : 石鹼液などで生糸・絹糸・生地からセリシンなどの不純物を除去すること
染色 : 糸または生地を染めること

- フランスの精練は先練(上記:合糸の前)が主。生地完成後の精練(後練)も一部ある。
- フランスの染色は後染(上記:絹糸完成後)が主。合糸撚糸前の染色(先染)も一部ある

3-2. 業界関係者

部門	職種	生糸購買見込
製造 (工場) あるいは 個人製作	合糸・撚糸業者(請負専門。売先もたず)	×
	製織業者(請負専門。売先もたず)	①
	染色・精練業者(請負専門。売先もたず)	×
	生地加工・縫製業者(請負専門。売先もたず)	×
	生地加工業者(自社製織・自社加工。売先をもつ)	②
	生地加工業者(他社製織・自社加工。売先をもつ)	③
	刺繍・特殊加工業者(絹糸で刺繍等。売先をもつ)	④
	糸づくり・手織業者(個人・零細での製作)	⑤
企画 デザイン	絹糸デザイナー(※次頁以降参照) 織度、上撚り・下撚り、撚糸数を決める	×
	生地デザイナー(※次頁以降参照) 経糸・緯糸の選定、織種類、織パターン、糸密度を決める	×
	テキスタイルデザイナー(※次頁以降参照) スタイリスト クリエーター デザイナー	×
販売	生糸卸販売業者	⑥
	シルク生地卸販売業者	×
	糸(シルク・手芸糸など)小売店	×
	シルク生地小売店	×

- ①: 請負専門の製織業者は、「購入する」というより、デザイナーから「購入させられる」。
 このような場合の製織業者は、自ら絹糸を販売する売先はもたない。
 生糸購入後、合撚糸業者へ外注し、完成した絹糸で製織等を行う。
 デザイナーからは、製織実費と納入した生地代金をもらうのみ。
 納入残があれば、実質、余剰在庫となる(売れるまで儲けにはならない)
- ②: 生糸購入後、合撚糸業者へ外注。完成した絹糸を自社で製織等し、取引先へ販売。
- ③: 生糸購入後、合撚糸・製織業者へ外注。完成した生地を加工等し、取引先へ販売。
- ④: 生糸購入後、合撚糸業者へ外注。完成した絹糸を自社で刺繍等し、取引先へ販売。
- ⑤: おもに個人用途の購入。取引量は小さい
- ⑥: フランスには大手1社+ほか1社
- ×: 購入は見込めない。とくに、「デザイナー」職が自ら生糸を購入することはない。

※:絹糸デザイナー・生地デザイナー

本事業の最大のポイントは、絹糸デザインならびに生地デザインなどができる人材(本報告では絹糸デザイナー、生地デザイナーと呼ぶ)、が、いったいどこにいるかを発掘することにある。そもそも、この素養・技術をもったプロフェッショナルは、たいへん希少になっている。さらには、絹糸・生地デザインだけを専門に行っている独立業者は皆無であることから、なにがしかの組織・団体のなかに、隠れるようにして存在している人材を発掘しなければならない。

フランス国内に残り、絹糸デザイナー・生地デザイナーの素養をもつ人材とは、以下のような人物像であると推定する。

- ひと握りの自ら絹糸・生地デザインができる製織業者に所属する担当者(前頁②)
- ひと握りの自ら絹糸デザインができる刺繍等業者に所属する担当者(前頁③)
- 糸づくり・手織を行うプロ・アマ(前頁④)

留意すべき点は、絹糸デザイナー・生地デザイナーは、あくまで「デザイン」するだけであり、彼らが伊予生糸を購入することは、「商慣習上ない」ということである。伊予生糸を購入する主体は、あくまでも、絹糸デザイナー・生地デザイナーの素養をもった人材が所属する製織業者、つまり工場である。製織業者が伊予生糸を購入後、生糸は合糸・撚糸業者に渡される。つまり、製造プロセス上は、生糸は、まず合糸・撚糸業者へ送られる。そして、製織業者に所属する絹糸デザイナーが合糸・撚糸業者に仕様を指示し、合糸・撚糸業者がそのとおりに合糸・撚糸する。次に、出来上がった絹糸は、製織業者に運ばれ、同じく製織業者に所属する生地デザイナーが指示する仕様どおりに製織業者が社内で製織し、生地になる。

ただし、絹糸デザイナーまたは生地デザイナーのいずれかが、合糸・撚糸よりも前に、精練・染色を求める場合には、生糸は、精練・染色工場を経て、合糸・撚糸工場へ運ばれることになる。

※:テキスタイルデザイナー

昨今は、有名ブランドに所属するテキスタイルデザイナー(服飾等最終製品のデザイナー)でさえ、その大半は、生糸や織の特性などに精通しておらず、絹糸や生地をデザインすることができない。つまりは、生地メーカーが提示する複数の生地サンプルのなかから好みの生地を選ぶことしかできない。このような場合に、テキスタイルデザイナーが、いわば無理やり絹糸・生地デザインを行うと、おおにして思い通りの生地には仕上がらない。つまり、そのまま商品化できるケースは稀であり、その結果、テキスタイルデザイナーが合糸・撚糸・製織業者へ試行錯誤を強要しがちになる。

では、絹糸や生地をデザインできるプロフェッショナルが不足しているなか、新しい絹糸・生地は、どのようにして生まれているのか。この点については、以下の通りと推測する。つまり、テキスタイルデザイナーは、中国企業との間に、絹糸生産と生地生産を大量に受発注しあう関係性をふだんから築いている。この環境下で、テキスタイルデザイナーから新たな生地製作の要望があれば、中国企業は、絹糸デザイナーと生地デザイナーが不在のまま、体力まかせで絹糸・生地を試作しては、テキスタイルデザイナーにフィードバックすることを繰り返しているものと推測する。あるいは、このような環境のなかで、中国国内では、絹糸デザイナー・生地デザイナーが育っているのかも知れない。いずれにしても、新しい絹糸・生地は、このようななかで生まれていると推測する。一方では、フランス国内に残り、絹糸デザイナー・生地デザイナーの素養をもった人材とは、以下のような人物像であるといえる。

● ひと握りの絹糸・生地デザインの両方ができる有能なテキスタイルデザイナー

留意すべき点は、テキスタイルデザイナーも、絹糸デザイナー・生地デザイナー同様に、あくまで「デザイン」するだけであり、彼らが伊予生糸を購入することは、「商慣習上ない」ということである。一般的には、テキスタイルデザイナーがデザインに関与する場合には、まず製織業者が、彼らからの指示を受け、生糸を購入する。そして生糸は、合糸・撚糸業者に渡される。つまり、製造プロセス的には、生糸は、まず、合糸・撚糸業者へ送られる。そして、絹糸デザインができるテキスタイルデザイナー指示する仕様どおりに合糸・撚糸業者が合糸・撚糸する。次に、出来上がった絹糸は製織業者に運ばれ、生地デザイナーもできるテキスタイルデザイナーが指示する仕様どおりに製織業者が製織し、生地になる。

なお、伊予生糸は、供給可能量がきわめて小さいため、商品化されない(歩留がわるい)試作品に多くの材料を供給することは、極力避けなければならない。有名ブランドのテキスタイルデザイナーとはいえ、絹糸・生地デザインができる素養をもっているか否かを見極める必要がある。

3-3. 伊予生糸購買者の仮説

伊予生糸の購買見込客は、テキスタイル業界のなかでも、ごくひと握りである。そのなかでも可能性が比較的あると見込めるのは、以下のケースであると仮説した。

(1) 製織業者(その1:オートクチュールデザイナー経由)

ハイブランドのなかでも、とりわけ絹糸デザイン、生地デザインに長け、そのスペック(糸織度、撚糸数、糸密度、織柄など)を的確に決められるスタイリスト(フランス語:一般的にはテキスタイルデザイナーのこと)が在籍し、製織業者に対して、伊予生糸の購買を指示するケース。そのブランドは、その後、合糸・撚糸・製織・加工縫製を経て、完成させた製品(衣服・スカーフなど)を自社の販売ルートで販売することができる。

(2) 製織業者(その2:自社で絹糸デザイン・生地デザイン)

一般的には、製織業者は、テキスタイルデザイナーおよび生地デザイナーからの発注仕様のとおりに請け負って、製作・納品するのみにとどまる。このようななか、生糸の「目利き」、つまり絹糸デザインができるごくひと握りの製織業者が、伊予生糸を購買。自ら絹糸デザインを行い、その後、提携先の合糸・撚糸業者に合糸・撚糸させる。そして出来上がった絹糸を使い、自社で生地デザインと製織、さらに加工・縫製を行って最終製品を完成させ、自社の取引先へ販売するケース。

(3) 生地加工業者(自社製織、自社加工)

ふだんは、自社で製織請負している生地をさらにスカーフ、ストールなどに加工し、自社製品として販売している業者(工場)。自社で製織できるとはいえ、ほとんどは請負であって、むしろ、請負製作した生地の納品残(在庫保有)を生かし、スカーフ、ストール等に仕上げるデザイン・ならびにその加工を行うクオリティの高さを前面に押し出しビジネスしている企業。その企業が、伊予生糸を購買。その後、面識のある絹糸デザイナーに絹糸デザインを依頼し、合糸・撚糸業者に外注して絹糸を仕上げる。そして、その絹糸を使って自社で製織したのち、さらに加工・縫製を行って最終製品を完成させ、自社の取引先へ販売するケース。

(4) 生地加工業者(他社製織、自社加工)

「生糸から自社商品を作りたい」欲求があるものの、ふだんは購入した既製生地を使って、ドレス、スカーフなどに加工・縫製などを行い、自社製品として販売する業者が、伊予生糸を購買。その後、面識のある絹糸デザイナーに絹糸デザインを依頼し、合糸・撚糸業者に外注して絹糸を仕上げる。そしてさらに、同じく面識のある生地デザイナーに生地デザインを依頼し、製織業者に外注して生地を仕上げる。その生地を使って、さらに加工・縫製を行って最終製品を完成させ、自社の取引先へ販売するケース。

(5) 刺繍・特殊加工業者

デザイナーなどから刺繍製作等を請け負うのみにとどまらず、自ら刺繍柄・レース等をデザインでき(=絹糸デザイナーの素養をもつ)、かつ自社で刺繍・特殊加工ができる業者(工場)が、伊予生糸を購入。取引のある合糸・撚糸業者に撚糸を外注して出来上がった絹糸を使い、刺繍・特殊加工し、自社の取引先へ販売するケース。このように、刺繍等そのものが最終製品となる場合には、生地を製作する必要がない場合がありうる(=生地デザイナーが不要)。

(6) 生糸卸販売業者

希少な日本産の高品質生糸に関心をもつ生糸卸販売業者。伊予生糸は高額ではあるものの、その品質の高さを評価し、購買者層がいると目利きし、伊予生糸を購入するケース。

(7) 糸づくり・手織のプロ・アマ

手製の糸づくり・手織りなどを行うプロ・アマが、ふだんから、「生糸から作品を作ってみたい」欲求があるものの、中国産生糸などは最小ロットがあまりに大きすぎて買えない場合において、最小ロットの小さい高品質な伊予生糸を購入するケース。

あるいは、その類似ケースとして、手芸教室等を開講するプロ・アマが、教材に使用する糸として、高品質でロットの小さい伊予生糸を購入するケース。

4 市場調査手法の設定

前項の仮説が確実でないことに留意しつつ、かつその仮説が正しいかを検証し、修正しながらその確度を高めていくため、以下の3段階に分け市場アクセスを行う。

第1段階 不特定多数の関係者から広く声を集め、仮説を検証し、その精度を高める		
調査法	調査相手	調査内容
DM 発信 ダイレクト メール 約1万名	不特定のテキスタイル関係者への DM 配信 <ul style="list-style-type: none"> ・ オートクチュールデザイナー ・ テキスタイル製作・卸 ・ テキスタイル輸出入 ・ テキスタイルデザイン ・ 縫製・生地直し ・ 生地・糸販売店 ・ 糸づくり・手織のプロ・アマ 	伊予生糸の紹介 関心度調査 ・開封・クリック・返信率 ・返信文面の精査 配信先業種によって紹介文面 を変更し、上記を繰返す
生糸 サンプル 提供	DM 発信後、サンプル提供を希望した相手	生糸サンプルの求評 ・品質に対する評価 ・可能性のある用途

第2段階 購買見込客をピックアップ。相手に合わせた DM を個別配信して打診		
調査法	調査相手	調査内容
DM 個別発信 WEB フォーム 書込	購買見込客への打診 (1) <u>オートクチュールデザイナー</u> (2) <u>絹糸・生地デザインができる製織業者</u> (3) <u>生地加工業者(自社製織・自社加工)</u> (4) <u>生地加工業者(他社製織・自社加工)</u> (5) <u>絹糸デザインができる刺繍・特殊加工業者</u> (6) <u>生糸卸販売業者</u> (7) <u>糸づくり・手織のプロ・アマ</u>	伊予生糸の紹介 関心度調査 ・開封・クリック・返信率 ・返信文面の精査 サンプル希望者に提供・求評

第3段階 合糸・燃糸工場へのヒアリング		
調査法	調査相手	調査内容
メール	合糸・燃糸工場へのヒアリング 自ら絹糸デザインは行わず、デザイナーより指 示されたスペックの合糸・燃糸を請け負う業者	合糸・燃糸を請負う技術的可能 性(保有設備等)のヒアリング 対応可能な織度・燃数 最小ロット・見積

5. テキスタイル関係者への DM 配信 第1段階

目的: 不特定多数のテキスタイル関係者の声を広く集め、仮説を検証、その精度を高める

5-1. DM 配信方法

- 配信先

職種	総配信数 (相手先数)	配信回数	DM 番号 (次頁参照)	DM1回につき 平均配信数
1 縫製・生地直し	4,272	10	1-1～1-10	427
2 オートクチュールデザイナー	2,113	10	2-1～2-10	212
3 テキスタイル輸出入	165	3	3-1～3-10	55
4 テキスタイルデザイン	2,193	10	4-1～4-10	219
5 服飾製造・卸	517	3	5-1～5-10	172
6 生地・糸販売店	1,418	4	6-1～6-4	355
7 糸づくり・手織のプロ・アマ	122	1	7-1	122
計	10,800			

● 配信期間

2021年1月21日～2021年3月7日

- ・パリ現地展示会開催に向け近々始動との連絡があった日 1月 20日
 - この時点で予定していた開催日 2月23～25日
 - 実際は開催決定しなかったため配信一時中断
- ・パリ現地展示会開催が決定した日(以降配信再開) 2月 16日
- パリ現地展示会開催日 3月10～12日

配信日とDM番号

月	月	火	水	木	金	土	日
1月				21	22	23	24
				1-1	2-1 3-1 4-1	5-1	2-1
	25	26	27	28	29	30	31
	2-2 5-2	5-2	2-3 5-3	6-1	2-4 5-4	6-2	1-4
2月	1	2	3	4	5	6	7
	2-5 3-2 4-2	5-5	5-6				
	8	9	10	11	12	13	14
			1-5	2-6			
	15	16	17	18	19	20	21
				1-6	5-7	1-7	
	22	23	24	25	26	27	28
	2-7	6-3	4-3	1-8 3-3	2-8 5-8	3-1	
3月	1	2	3	4	5	6	7
	6-4	2-9 5-9	1-9	1-10	2-10	5-10	

- **当初配信 DM 文面**

配信初日(1/21)に DM 配信した文面(和訳)を次頁に示す。

以降は、送信相手職種ごとに、メール開封率、クリック率、サンプル依頼状況などを確認しながら、文面のブラッシュアップとその検証を繰り返した。

DM タイトル: 日本産生糸のご紹介

以下本文

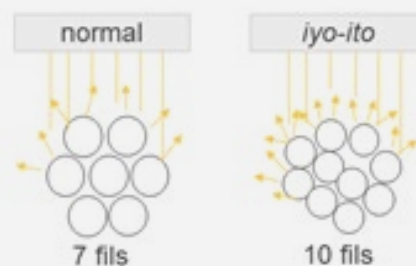
このたびは、日本の伊予生糸をご紹介させていただくのを大変光栄に存じます。



伊予生糸

通常7本の繭糸から 21 デニールの生糸ができるのに対し、伊予生糸は10本の繭糸からできています。

光沢の美しさは、この生糸のおおきな特徴のひとつです。生糸の広い表面積から、たくさんの方向へ複雑に反射される光は、比類なき輝きを生み出します。



伊予生糸から作られた絹糸 (参考)

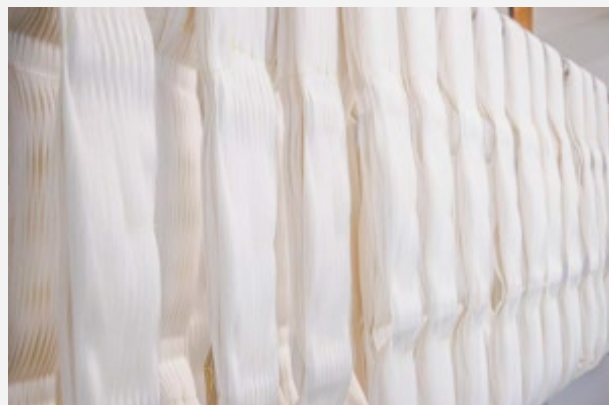
日本では、皇室関係者向けの儀式用の装束をはじめ高級な着物や帯のための素材として使われています。

伊予生糸の産地は、日本の南西に位置しています。この産地は、日本国農水省の GI に登録されています。

わたしたちは、養蚕農家にすぎません。ですから、できることは、生糸を供給することのみです。

日本では、わたしたちの生糸を合糸・撚糸・製織できる企業がほとんど残っていません。ですから、そのクオリティの高さにも関わらず、日本では新しい製品を作ったりすることができません。

わたしたちの市場調査によれば、フランスにおけるシルクテキスタイル生産の状況も、日本と似たような状況ではないかと推測しています。



そこで、わたしたちは、新しい商品開発を行うプロジェクトを御社に提案いたします。わたしたちは、下記のなかのひとつにいっしょに取り組んでいただける協力企業さまを探しています。

- 合糸・撚糸
- 精練
- 製織
- デザイン
- 販路開拓

もしこのプロジェクトに関心をおもちいただけるようであれば、送付先住所を添えて、本メールにご回答願います。下記の伊予生糸のサンプルをお送りいたします。



わたしたちは、コロナウイルスの状況を勘案しつつも、フランス(とくにパリ)へ2月23, 24, 25日に行くことを予定しています。

そこで御社とこのプロジェクトについて議論できたらと存じます。御社とお互いに尊重し合える思い、文化、そして歴史を共有しながら、コラボレーションできることを楽しみにしております。

敬具

堺武志

合同会社 JEXPO 代表社員

info@jexpo.org

8140001

日本国 福岡市早良区百道浜 3-8-33

-
- PDF [Flyer](#)
 - PDF [Histoire de marque](#)
 - URL <https://fr.jexpo.org/soie-sauvage-japonaise/>

欧州委員会は、日本国を [欧州委員会が十分なレベルの個人データ保護を保障している旨を決定している国](#)として承認しています。

JEXPO は、これにもとづき、日本の個人情報保護法にのっとり、日本とフランスの企業の橋渡しに貢献するため、最大で年3回、この DM を御社に配信します。

JEXPO は PRGD (General Data Protection Regulation: EU 一般データ保護規則)を尊重します。下記の「配信停止」をクリックいただければ、この DM の配信を即刻停止し、御社に関する情報を、当方データベースより削除いたします。

[配信停止](#)

Le denier

Un fil de la soie brute 20/22 Denier est composé de 10 fils du ver à soie

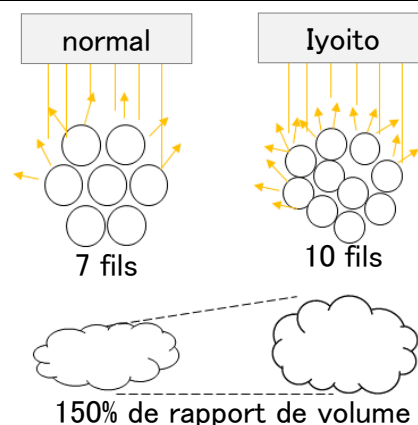
- La complexité du surface donne une belle réflexion d'éclat de lumière
- Le fil haut résistant aux étirements

Multi-end reeling ancien et lente

- 150 % de rapport de volume (67 % de rapport poids)

Séchage à basse température

- Éviter l'ébullition des cocons à haute température afin de protéger la protéine et la blancheur pure et naturelle des fils



Clients potentiels

- Ayant les canaux de contact à la FHCM
- Pouvoir produire du textile de la soie brute
- Restaurateur des patrimoines textiles

Conditions de la transaction

- 21Denier (20/22) 27Denier (26/28)
- Stock maximum 100kg
- Lot minimum 2,000g

Échantillons gratuits

Nous vous enverrons des échantillons aux 20 premières personnes qui est capable de charger une des tâches ci-dessous.

**doublage moulinage décreusage tissage
design et développement**

Serculteur Iyoito

Nomura Silk Museum

IG par le Ministère de l'Agriculture

<https://gi-act.maff.go.jp/register/entry/10.html>



Promoteur Takeshi SAKAI

JEXPO LLC info@jexpo.org

Échantillons / Demande de prix / Contact

- Rendez-vous en France à la fin février
- Réunion sur Zoom

<https://fr.jexpo.org>

5-2. DM 配信結果

- 総括

DM 配信結果総括

対象	配信 メール 数	メール 開封数 (開封率)	クリック数 (率)	サンプル 申込数 (率)	メール 求評 回答数	来場 または Zoom 数
オートクチュールデザイナー	2,116	640 (30.2%)	32 (5.0%)	10 (1.6%)	3	3
服飾製造・卸	517	159 (30.8%)	8 (5.0%)	7 (4.4%)	3	0
テキスタイル輸出入	165	42 (25.5%)	6 (14.2%)	0 (0.0%)	0	0
テキスタイルデザイン	2,193	554 (25.2%)	38 (6.9%)	5 (0.9%)	1	2
縫製・生地直し	4,274	1,008 (23.6%)	25 (2.5%)	3 (0.2%)	2	0
生地・糸販売店	1,418	402 (28.3%)	19 (4.7%)	5 (1.2%)	0	1
糸づくり・手織のプロ・アマ	122	71 (58.2%)	17 (23.9%)	5 (7.0%)	3	1

開封率 = メール開封数/配信メール数

クリック率 = クリック数/メール開封数

サンプル申込率 = サンプル申込数/メール開封数

● 内訳

オートクチュールデザイナー

サンプル 求評	社名	注記	製 織	刺 繍	染 色	デ ザ イ ン	加 工 縫 製	販 売
メール	Laurence garcia	刺繍作家		○		○		
メール	Kezaly	オリジナルのウエディングドレス製作				○	○	
メール	AMIN KADER	モードクリエイター。精錬前の御社の生糸にたいへん興味があり				○	○	○
来場	LEONARD PARIS	ファッションブランド。2月のパリでのアポイント希望				○	○	
来場	Adeline Andre	ファッションデザイナー				○		
来場	nathalie gervais	クリエイティブディレクター＋デザイン				○	○	
無回答	Fée au Château	オリジナルのドレス製作				○	○	
無回答	ETSUKO HARADA	オリジナルアクセサリー・ジュエリーのデザイン・製作。ショールームあり				○	○	
無回答	Un Chat dans la boutique	廃棄物ゼロのオリジナルアクセサリーと手芸製作				○	○	
無回答	Atelier de Fifi au jardin	エコ志向・手作り・単品製作の婦人服・ウエディングドレス				○	○	

服飾製造・卸

サンプル 求評	社名	注記	製 織	刺 繍	染 色	デ ザ イ ン	加 工 縫 製	販 売
メール	Atelier de toutes façons	縫製						
メール	Séraphita	糸・布地製作インターン受入。					○	
メール	La Fibre Textile	糸製作・織・染色のプロ・アマ団体が集まる協会	○					
無回答	Mille Et Une Bulle	手芸品店		○				
無回答	Morse Felt Studio	ウール フェルト生地 of 服飾デザイン				○	○	
無回答	Manufacture Royale BONVALLET	染色・ベルベット・テキスタイルマニュファクチャー			○	○	○	

テキスタイルデザイン

サンプル 求評	社名	注記	製 織	刺 繍	染 色	デ ザ イ ン	加 工 縫 製	販 売
メール	Guguin eva	スタイリスト、モデリスト				○	○	
Zoom	YSATYS	100%天然由来素材のランジェリーブランド					○	
Zoom	CRE'ART-46	手芸作家				○	○	
無回答	Créativ'Expériences	テキスタイル職人。廃棄物ゼロNPO運営				○	○	

縫製・生地直し

サンプル求評	社名	注記	製織	刺繡	染色	デザイン	加工縫製	販売
メール	AU FIL DU TEMPS	縫製					○	
メール	MHB COUTURE CREATION	スタイリスト/ モデリスト / クリエーター				○	○	
無回答	Quatorze40	ホテル客向けのリネンサービスで高級ホテル業界とつきあいあり。今後業務の多角化を検討中					○	○

生地・糸販売店

サンプル求評	社名	注記	製織	刺繡	染色	デザイン	加工縫製	販売
来場	Ty' NyNie Broderie	ナチュラル志向の刺繡作家		○				
無回答	Au fil de la mercerie	手芸品店						○
無回答	le comptoir des fees	刺繡・手芸品店		○			○	
無回答	De Points en Croix	手芸品店						○
無回答	PATRON & FILS	刺繡教室・アトリエ貸出あり						

糸づくり・手織のプロ・アマ

サンプル求評	社名	注記	製織	刺繡	染色	デザイン	加工縫製	販売
メール	Filenlaine	ウール手編デザイン・製作・販売				○	○	
メール	atelier du Val d'Aix	シルクのスカーフ・ストールを自ら織る作家				○	○	
メール	SARA REVIL	旧式木製撚糸機などを使ったオートクチュール向け刺繡糸	○	○		○	○	
Zoom	atelier Victorine	セミオーダーメイド婦人服				○	○	

- **開封率**

一般的に、DMの開封率は、15%~25%と言われている。これと比べると、ほぼすべての職種で25%を超える好結果となった。今回配信したDMは、フランス国外である日本から配信されたメールであり、いわゆる「怪しいメール」、あるいは「無関係なメール」とみなされてもやむを得ない。ところが、上記の結果は、「日本産糸の紹介」というタイトルを見て、メール本文を読んでもみようと思った人の割合が、じゅうぶん高かったことを示している。なかでも、「糸づくり・手織りのプロ・アマ」の58.2%は記録的な高さであり、服飾製造・卸が30.8%、オートクチュールデザイナーが30.2%と、ともに30%を超えていることも特筆される。「日本産糸」は、欧州のテキスタイル業界者の喚起をもたらすキーワードであることは間違いない。

- **クリック率**

DMやメールマガジンのクリック率は、0.8~1.5%と言われている。今回計測したクリック率は、「サンプル依頼または来場アポイントへの申込サイトへのリンクをクリックした率」である。今回は、この数値が2.5%~14.2%と、きわめて高い数値となった。とりわけ、「糸づくり・手織りのプロ・アマ」の23.9%、テキスタイル輸出入の14.2%と、両者の高さが特筆される。

- **サンプル依頼数**

そして、最終的にサンプル依頼を申し込んだ人の割合は、「糸づくり・手織りのプロ・アマ」7.0%、「服飾製造・卸」4.4%、「オートクチュールデザイナー」1.6%、「生地・糸販売店」1.2%の順に高かった。これが、最終的にDM記事を読んで、「サンプルを申し込んでみよう」と行動を起こすほどの関心の高さをもった客層であるといえる。

● 伊予生糸に関心を示す職種

これらの傾向から、「伊予生糸を見てみたい、使ってみたい」と思う職種は、以下のとおりであると推察できる。そして、生糸サンプルを手にした評価が良ければ、購買につながっていくことが期待できる。

伊予生糸に関心を示す職種とその理由

職種	伊予生糸に示している関心
糸づくり・手織りのプロ・アマ	<ul style="list-style-type: none"> ● 自らのプロ製作・手芸等のため、希少性があり、クオリティの高い伊予生糸を使ってみたい。
服飾製造・卸	<ul style="list-style-type: none"> ● 自社で製作する製品の素材として、希少性があり、クオリティの高い伊予生糸を試してみたい。 ● そのためには、絹糸デザインののち合糸・撚糸し、生地デザインののち製織した生地を試作する必要がある。そのクオリティが高く、製作原価があえば採用したい。
オートクチュールデザイナー	<ul style="list-style-type: none"> ● 自社がデザインするテキスタイル等の素材として、希少性があり、クオリティの高い伊予生糸を試したい。 ● そのためには、絹糸デザインののち合糸・撚糸し、生地デザインののち製織した生地を試作する必要がある。そのクオリティが高く、製作原価があえば採用したい。
生地・糸販売店	<ul style="list-style-type: none"> ● 合糸・撚糸後の絹糸、製織後の生地のクオリティが高く、製作原価があえば購入したい。

● 伊予生糸に関心を示さない職種

一方で、今回、サンプル申込率が低かった職種は以下のとおりである。あわせて、推定されるその理由を併記した。

伊予生糸に関心を示さない職種とその理由

職種	伊予生糸に関心がない理由(推定)
テキスタイル輸出入	● 大きな輸出入取引になりそうな物量が見込めない。
テキスタイルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ● テキスタイルデザインにおいて、生地選びをやることはあるものの、生糸からデザインすることはない、あるいは、できない。(=絹糸デザイナー、生地デザイナーの素養はない)。 ● 他の素材(綿・麻・化学繊維など)を主体に取り扱っており、生糸は取り扱っていない。 ● 低価格、大衆路線のテキスタイルデザインを行っており、方向性があわない
縫製・生地直し	● ふだんから、縫製・生地直しを業務として請け負うのみであり、直接的な関係が薄く、そもそも関心がない。

5-3. DM 文面のブラッシュアップと検証

今回の DM 配信は、最終的には、高い開封率、クリック率、サンプル申込を達成できた。しかしながら実際には、DM 配信当初(1月末)は、ほとんどクリック、サンプル申込がない状況であった。つまり、配信する DM の文面を繰り返しブラッシュアップしたことが奏功した。

以下には、開封率、クリック率、サンプル申込数が大きく増減するのに影響した主な変更内容を列記する。あわせて、その増減の変化から読み取れる、フランステキスタイル事情の分析、ならびに伊予生糸への関心度合いなどについて考察・検証する。

嵩高感・軽量感を追記(↑)

DM という特性上、配信当初、伊予生糸の訴求ポイントを1点のみ、つまり「光沢の美しさ」に絞り込んでいた。そこで、多条繰糸がもたらす「嵩高感・軽量感」を説明する簡潔な文章と、模式・写真を追加したところ、クリック率が高くなり、サンプル申込が増え始めた。その後の市場調査からも、「光沢」が最も訴求力があるポイントであることは明らかであったものの、嵩高感・軽量感が、光沢に次いで訴求力がある要素であることが確認できた。



「合糸・撚糸・製織業者を発掘できる」と言及(↑)

伊予生糸を使ったテキスタイルデザインを引き受けることに関心を示す人にとっては、「フランス国内で、シルクを合糸・撚糸・製織を請け負う業者(工場)が確保できるのか」が、重要な関心事であると予想した。この時点で、各業者のピックアップは終わっており、請負業者は発掘できるとの目途が立っていたことから、「合糸・撚糸・製織業者は発掘できる見込みである」と文面を変更した。すると、クリック、サンプル申込が急激に増えた。

つまり、フランス人テキスタイルデザイナーとはいえ、大多数は「フランス国内のシルク専門の合糸・撚糸・製織を請け負う業者(工場)」と接点がないというのは、予想どおりであった。

あわせて、各種業者を手配しておけば、テキスタイルデザイナーの関心を惹くことができることも把握できた。

会場への来場アポイントに力点(↓)

3月10～12日のパリ現地での展示会開催が最終的に決定したのは、3週間前の2月16日であった。その日から、会場来場者を集客する必要があったため、DMの主旨を、「サンプルを送付するので求評をお願いしたい」から、「ぜひ会場へ来場願いたい」へと変更した。

すると、会場への来場アポイントは6件獲得できた一方、その代償としてサンプル依頼数は激減した。折しも、この時期は、コロナウイルス対策として、外出が現地で厳しく制限されていた真っ最中であった。パリから遠方に住んでおり、Zoomでの来場参加を希望する方もいた。

コロナ禍のわずか1年間の間で、フランス人の生活様式は大きく変わった。「まずは現場で、実物を確認し、相手にも会う」ことは、今やまったく必須ではなくなっている。まずは、資料やサンプルで吟味し、そして可能であれば、商談もメールやZoomなどで済みます。その上でなお必要であれば、直接会う、という合理的な仕事の進め方に大きくシフトしている。「モード」という最先端にいることが宿命づけられている分野においては、この変化は、今後さらにスピードをあげていくのが必定である。約1年前に決めた事業内容に拘泥するのではなく、事業の途中でもその取組内容を柔軟に変更できるようにすることが、今後の事業成功の重要なカギである。

織度、撚数、糸密度、織柄などのヒアリング(↓)

今回のDM配信では、いわゆる有名オートクチュールブランドにあつては、以下の2社からサンプル依頼があり、両社ともに会場へ来場した。

- LEONARD Paris
- Adline André

しかし、両社ともに、果たして「絹糸デザイン」ができるのかが、懸念された。そこで以降のDMには、「織度、撚数、糸密度、織柄などをデザインできる人材を探している」ことを明記することとした。

一方で、テキスタイルデザイナーのなかには、「絹糸デザインはできないものの、伊予生糸を使ったテキスタイルデザインには関心がある」という方がいると推定。「ご自身が気に入っている生地の手切れを郵送いただきたい。そして、われわれがその手切れの織度、撚数、糸密度、織柄等を分析して生地デザインに反映させ、協働を進めたい」旨を記載した。

結果、この2つの趣旨に呼応して返信をしてきたテキスタイルデザイナーは現れなかった。また、のちのヒアリングでは、上記2社ともに、自社では絹糸デザインはできないことが判明した。このことから、生糸から絹糸デザイン、生地デザインを経て、そのうえでテキスタイルデザインまでできるテキスタイルデザイナーは、たとえ有名オートクチュールブランドの域にあつても、当初の予想通りごく一部に限られることが、あらためて確認された。

完成品写真の追加(↑)

プロモーションの対象が伊予生糸であることから、当初は、文面・写真ともに「生糸」だけに焦点をあてる内容になっていた。そこで、伊予生糸を使った最終製品(生地)の写真をWEBで収集し紹介した。すると、クリック率、サンプル申込数が増えた。

なお、野村シルク博物館では、伊予生糸がどのような最終製品に仕上がっているのか、WEB等でどのように紹介されているのかを把握できておらず、同様な写真を提供いただけるとはなかった。販促においては、このような写真や説明文が必要不可欠であると、認識をあらたにすることができた。



タイトルの変更(↑)

本DMの主旨は、「紹介」というよりはむしろ「協働提案」であることをふまえ、タイトルを「日本産生糸のご紹介」から、「日本製生糸(ご提案)」に変更した。すると、メール開封率が50%以上アップした。

絹糸デザイン・生糸デザインできる製織・刺繍業者向け(↑)

以上をふまえると、絹糸デザイン・生糸デザインができそうな人材は、テキスタイルデザイナーのなかではなく、むしろ、製織業者・刺繍業者などのなかに隠れている可能性がある、と予想した。

そこで、製織業者・刺繍業者のなかで、請負のみならず、自社で絹糸デザイン・生地デザインをする素養がありそうな業者を、ホームページに記載されている情報などから推測し、ピックアップした。

そして、下記内容でDMを配信することとした。

現在、伊予生糸をフランスに輸出し、現場で直接、合燃糸から製品化までを行うプロジェクトを企画しています。その際のベストパートナーは、オートクチュールのテキスタイルデザイナーではないとの仮説を立てています。われわれが協働すべきパートナーとは、伊予生糸の特性を理解したうえで、適切な絹糸デザイン、ならびに生地デザイン(織度、燃糸数、糸密度、織柄決め)ができ、かつ、自社で合糸・燃糸・製織ができる工場であると仮説を立てています。今回、御社にメールしたのは、このような理由によります。ご関心をおもちであれば、伊予生糸のサンプルを送ります。あわせて、来場、あるいは Zoom での参加をお願いしたく存じます。

この文面の DM を受信し、サンプル申込・Zoom参加を申し出てきたのが、以下の2社である(詳細後述)。

- Bucol(ホールディングス・テキスタイル・エルメス9社のうちの1社。専門は製織)
- Prelle(1752年創業。オペラ座の緞帳の修復などを行う。専門は刺繍)

以上のような経緯を総合的に分析し、伊予生糸の採用に関心を持ち、購買する可能性がとくに見込まれる職種は、下記のとおりであると整理した。

- 絹糸デザイン・生地デザインがともにできる製織業者
- 絹糸デザインができる刺繍・特殊加工業者
- 絹糸デザイン・生地デザインがともにできるオートクチュールデザイナー

5-4. サンプル送付相手に対する求評結果

以下に、生糸サンプルを送付した相手から得られた回答ならびに評価を列記する。そして、あわせて、そのやりとりから読み取れる市場ニーズ等を分析する。

あわせて、購買の可能性があると判断した相手は、「購買見込客にリストアップ」した。

企業名等	Laurence Garcia (個人経営)
担当者	Laurence Garcia
職種	オートクチュールデザイナー
HP 等	なし
生糸サンプル に対する 評価等	生糸サンプル受領しました。とてもクオリティが高いですね。この生糸を取引見込先リストに追加します。わたしはプロの刺繍職人の立場として御社の生糸を採用する機会があればと思います。最小ロットをお知らせ願います。
分析	<p>オートクチュールデザイナーのなかには、個人経営レベルであっても、生糸や絹糸のサンプルを見て、そのクオリティを評価できる人材がいることがわかる。</p> <p>やりとりからは、自ら絹糸デザイン、生地デザインできる素養をもっていることが想起される。Garcia 氏の場合は、刺繍職人であることが「生地」になる前の「糸」を目利きできる理由であると見る。</p> <p>最小ロットと価格を通知済 (22,000 円/kg)。「生糸を採用する機会」があれば、あらためてコンタクトしてくるか、すでに現段階で、「価格が高い」と判断しているか、いずれかかであると分析する。</p>

企業名等	Kezaly mariage
担当者	Claire
職種	オートクチュールデザイナー
HP 等	 <p>The screenshot shows the website for 'Kezaly mariage' with the tagline 'créations sur mesure'. The navigation menu includes 'Accueil', 'Robe de mariée', 'Nos mariées', 'Robe de cocktail', 'À propos', and 'Contact'. Below the menu are three photographs: a woman in a white lace wedding dress being adjusted by a tailor, a woman in a white lace wedding dress standing outdoors, and a woman in a white lace wedding dress standing indoors.</p>
生糸サンプル に対する 評価等	<p>オーダーメイドでウエディングドレスを製作しています。わたしに関しては、生糸ではなく生地であることが必要です。なぜなら、わたしは合糸・撚糸はできないからです。わたしは、シルクのクレープ、モスリン、そしてオーガンジーは後練のものを基本的に使っています。</p>
分析	<p>今回、オーダーメイドでウエディングドレスを製作しているデザイナーからのサンプル依頼がほかにも数件あった。「晴れの日」の衣装であるウエディングドレスに、高級感、特別感を与えるための素材として、伊予生糸に関心をもった可能性が高い。</p> <p>DMで紹介した右図案などから、ふだんから使っているシルクのクレープ、モスリンなどにも仕上げられそうだとイメージしたものと分析する。</p> <p>このケースでは、「オーガンジーには後練のもの」などといった生地選びをしているオートクチュールデザイナーであっても、絹糸デザインができないことがわかる。やりとりからは、「まさか生糸を送ってくるとは思わなかった」と感じた様子が窺える。</p>  <p>The image shows four square panels of different silk fabric patterns. The top-left panel features a geometric diamond pattern. The top-right panel shows a floral pattern with leaves and flowers. The bottom-left panel has a circular medallion pattern. The bottom-right panel displays a floral pattern with leaves and flowers.</p>

企業名等	Amin Kader
担当者	Amin Kader
職種	オートクチュールデザイナー
HP 等	 <p>ジュエリーとは違い、洋服はそれを着ている女性よりも強く主張するべきではありません。見た瞬間、女性が目に入り、その後で洋服に目がいくようでないといけません。</p>
生糸サンプルに対する評価等	<p>御社の精練前の生糸にとっても関心があります。</p> <p>試作をするためには、フランスとイタリアにいる弊社の協力会社である撚糸工場と精練工場に問い合わせる必要があります。ですので、商品価格、最小ロット、リードタイムを知らせ願います。</p>
分析	<p>日本人観光客が多く訪れるパリ中心地にショールームを構える服飾デザイナー。日本語サイトを持ち、日本人顧客への販売を意識している。生糸は「精練前」のものを指定していること、撚糸工場と精練工場の間合せ先をもっていることから、生糸から製品化するまでの一連の流れには精通していると思われる。</p> <p>生糸サンプルを発送すると同時に、商品価格、最小ロット、リードタイムを回答したところ、まったくコンタクトがとれなくなっている。採用を検討する機会にあらためてコンタクトしてくるか、生糸のクオリティに何らかのネガティブな評価をしているか、価格が高いと判断しているか、いずれかであると分析する。</p>

企業名等	LEONARD PARIS
担当者	Tribouillard
職種	オートクチュールデザイナー
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	来場希望
分析	エルメス・シャネル・ディオールなど、オートクチュール 104 社が加盟するフェデレーション・デ・ラ・オートクチュール・エ・デ・ラ・モード (FHCM) の1社。通常は、自社ブランドに使う生地は、生地でしか購入ししない(糸からは買わない)ものの、伊予生糸のコンサルティングには関心をもつ様子。

※ 購買見込客にリストアップ(来場時の様子は後述)

企業名等	Adeline André
担当者	Estelle
職種	オートクチュールデザイナー
HP 等	<p>なし(下記は FHCM 上の紹介)。</p>  <p>The screenshot shows a website header for the Fédération de la Haute Couture et de la Mode (FHCM) with a 'MENU' button. Below the header is a grid of four designer profiles, each with a photo and a name: ADELINE ANDRÉ, AGANOVICH, AGNÈS B, and AKRIS. Below this grid are four more photos of fashion designs.</p>
生糸サンプル に対する 評価等	<p>サンプル送付後、どのような生地デザイン、あるいは用途などがありうるか、と問い合わせたところ、契約締結後、有償にてコンサルティング、商品化支援をします、との回答がある。複数の種類の織り、カラーバリエーション、生地製作、洋服プロトタイプ製作、生地プロモーションの仕掛け、などにつきまして見積をいただきたい旨を回答すると、Adeline André 本人が来場する旨、再回答がある。</p>
分析	<p>LEONARD 同様、オートクチュール 104 社が加盟するフェデレーション・デ・ラ・オートクチュール・エ・デ・ラ・モード (FHCM) の1社。伊予生糸のコンサルティングに関心をもつ様子。</p>

※ 購買見込客にリストアップ(来場時の様子は後述)

企業名等	nathalie gervais
担当者	Nathalie GERVAIS (ブランドデザイナー本人) Virginie CANTENEUR (デザイナー) Frédéric VILLATTE (製造プロセス責任者)
職種	オートクチュールデザイナー
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	インテリアコンサルタント。スタッフのなかで、とくに Ms. Virginie CANTENEUR は日本文化に強く影響を受けており、頻繁に日本を訪れている。彼女は群馬の富岡製糸場の存在を知っていた。衰退する伝統工芸の復興という観点からも伊予生糸に強く興味を示す。2007年に活動を停止したフランスのタペストリーの工場を復活させるプロジェクトをローンチさせているとのこと。 デザイナー本人、製造決定権者含め、合計3名での来場希望。
分析	強い意欲を感じることから、購買見込客にリストアップ。来場された場で、詳細を協議する。

※ 購買見込客にリストアップ(来場時の様子は後述)

企業名等	De Toutes Façons
担当者	Me Aurus
職種	服飾製造・卸
HP 等	 <p style="text-align: center;">De Toutes Façons (Co)</p>
生糸サンプル に対する 評価等	<p>サンプル受け取り次第、コメントを回答します。簡単に活動領域を自己紹介します。オーダーメイドのウエディングドレスを製作しています。ほかには、家庭用クッション、カーテンなど、取扱商品は豊富です。</p>
分析	<p>同社についてWEBで収集できる情報は facebook のみで、それ以外の情報がない。情報は限られているものの、服飾製造・卸というよりは、生地加工、縫製請負などが主業務と推測する。サンプル発送後、実際にはコメントの回答はなし。取引につながる可能性は、ほぼないと分析する。</p>

企業名等	Séraphita
担当者	Jeannet Christelle
職種	服飾製造・卸
HP 等	   
生糸サンプル に対する 評価等	<p>テキスタイル業界の実習生受け入れ機関です。そして、わたしは常に素材を供給する事業者さまからのコンタクトを待っています。ですから、御社の素材を手仕事で絹糸にすること(=合糸・燃糸すること)、紡錘や糸車にすることに関心があります。御社は、個人相手あるいは小ロットで取引することはできますか？もしそうなら、取引条件は？</p> <p>御社からのサンプル送付の提案はありがたいところですが、わたしは、まずは小ロットで購入し、わたしのまわりの人たちに见せることができたらと思います。</p>
分析	<p>服飾製造・卸業で登録されているものの、実質的には、テキスタイル業界の実習生受け入れ機関。メインは羊毛。フランスでは、このように、将来テキスタイル業界で働きたい人や、趣味で手芸などをする人向けの実習を提供する受入機関がひじょうにたくさんある。</p> <p>このなかには、「日本のクオリティの高い生糸からの生地作り」をテーマにした実習プログラムの素材として伊予生糸を採用し、同業他社との差別化を図り、実習生を獲得したい機関が多数あると分析する。</p> <p>通常、市場で取引される生糸の最小ロットは 100kg 以上である。先方は、小ロットの取引を希望しており、最小ロットが 1kg である伊予生糸は、成約の見込みがある。先方の希望を受け、サンプル送付に先立ち、最小ロット、取引価格を提示した。</p>

※ 購買見込客にリストアップ

企業名等	La Fibre Textile
担当者	Annick Souyri
職種	服飾製造・卸
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	<p>わたしたちは、糸製作・織・染色のプロ・アマ団体が集まる協会の代表者です。今回のプロジェクトに大変関心があるものの、わたしたち自身が直接御社に特定の人を紹介することはできません。そこで、御社のプロジェクトを協会のメンバーに回覧します。関心をもつプロ・アマから問い合わせがあると思います。</p>
分析	<p>同協会そのものが取引先になることはないものの、実際に同協会からの紹介と思われるサンプル依頼・来場が数件あった (Sara Revil, Atelier Victrine, Atelier Val d'AIX など)。彼女らは、いずれも、自身で糸づくり・生地づくりをするだけあり、生糸に詳しく、目利きができる。具体的な絹糸デザイン・生地デザインの仕様を決められる素養をもつ方が多い。その素養は、昨今の有名テキスタイルデザイナーのそれを上回るといっても過言ではないと感じた。厚意に感謝したい。</p>

企業名等	Guguin eva
担当者	Guguin eva
職種	テキスタイルデザイン
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	サンプル確かに受け取りました。もし必要なときは、わたしの違うクライアントにも紹介するよういたします。
分析	スタイリスト(いわゆるテキスタイルデザイナー)、兼モデリスト。当初は、ぜひともサンプルが欲しいとのことであったものの、サンプル受領後は、儀礼的な対応であり、モチベーションの対応があきらかにみてとれた。やりとりが希薄なため、その理由は不明。

企業名等	YSATYS
担当者	Farina Caroline
職種	テキスタイルデザイン
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	<p>ランジェリーのブランドです。わたしはふだんもっともよく使っているのは、サテン織 (85g/m2)、シフォンまたはなめらかな(lisse)のシルクのマスリン (80gr/m2)、あるいは、シルクのクレープ(80gr/m2)です。わたしは、草木染めするので先練しています。仕入れ先には、B-corp 取引することを要求しています。今のフランスには野村シルク博物館のような取り組みをしている製糸業者は稀有、大きな魅力だと思います。ただし、YSATYS としては布の購入を想定していたので、残念ながら生糸は扱えません。</p> <p>自分が買っている生地は 135 cm 幅 95 g /M2 で m 税込価格 32€/Mと 19 € /Mのもの。(光沢のあるシルクレース) 絹マスリンの手触りはシャリシャリとして柔らかくないものの、フワリ感のある見かけで、シワを寄せたような風合いがあります。伊予生糸の見積価格 (100€/M 制作費のみ。材料費が加わる)は高いと思う。扱えるのはディオールなどハイエンドの超有名ブランドに限られるだろう。</p>
分析	YSATYS 自身は、生地を購入するため、生糸を購入することはない点は残念。一方、ランジェリーブランドが伊予生糸の購買に関心をもつ可能性があること、さらには、シルクを扱うフランスメーカーから直接、好みの生地の重さ、仕入れ価格などをヒアリングできたことは大きな収穫。

企業名等	CRE'ART-46
担当者	Martine Bonnin
職種	テキスタイルデザイン
HP 等	<div style="text-align: center;"> <p>Voir mes oeuvres dans la galerie</p>  </div>
生糸サンプル に対する 評価等	<p>絹地を自分で染色し、スカーフなどに製品化している。生糸だとは想定しておらず、購入はできない。</p> <p>合糸・撚糸業者や製織業者とも取引がないため、残念ながら力になれない。今回の展示会で、絹糸、生地ともに大変優れたクオリティであることが理解できたので使ってみたい。生地開発の目処が立ったら是非とも連絡してほしい。可能であれば、今回のフランス語カタログがほしい。</p>
分析	<p>内業で対応できるのは、染色・縫製・販売のみと思われる。生糸を購入することはない点は残念。</p>

企業名等	AU FIL DU TEMPS
担当者	Delmarquette Nadège
職種	縫製・生地直し
HP 等	なし
生糸サンプル に対する 評価等	サンプルを受け取ったら、切れやすさ、機械織のしやすさ、織の複雑さ、などをテストしてみたいです。スイスにいるクライアントから生糸のような美しい素材がほしいとの強い要望をいただいています。お仕事ごいっしょできる機会があればと思っています
分析	WEB から得られる情報がほぼなく詳細が不明。サンプル発送後の回答は、現在のところなし。ただし、Nadège 氏がテストをしようとするのは、生糸の本質的な評価に関わることであり、その結果はぜひ知りたいところである。テストを結果がでるには、しばらく時間がかかると予想されるため、頃合いを見て再度フォローのメールを送ってみることが妥当。

企業名等	MHB COUTURE CREATION
担当者	Biré Marie-Hélène
職種	縫製・生地直し
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	<p>Marie-Hélène Biré は、とくにオートクチュールのスタイリスト、モデリスト、縫製、デザイナー、コルセット製造業者で、セレモニー用衣装のオーダーメイド仕上げを行なっています。伊予生糸のサンプル希望。</p>
分析	<p>縫製・生地直しなどをメインにしつつ、カスタムメイドのテキスタイルデザインなどを手掛けていると思われる。サンプル発送後の回答は、現在のところなし。生糸から絹糸デザイン・生地デザインを手がけることは、ほぼない業態であると予想する。</p>

企業名等	Ty'NyNie Broderie
担当者	Dias Laroudie Virginie
職種	生地・糸販売店
HP 等	 <p>The image shows a screenshot of the Facebook page for Ty'NyNie Broderie. The page features a header with navigation icons (Facebook logo, search, home, video, shop, profile, menu, and notification icons). The main content is a photograph of several blue embroidered flowers and ribbons on a light-colored fabric. Below the photo is the profile picture of Ty'NyNie Broderie, the name 'Ty'NyNie Broderie', the handle '@VirginiedeTy.NyNieBroderie', and the category 'ローカルビジネス' (Local Business). A blue button labeled '予約する' (Reserve) is visible at the bottom right of the post.</p>
生糸サンプル に対する 評価等	<p>サンプル頂戴しました。とても素晴らしく、デザインモチーフのシンスピレーションをわたしにもたします。会場への来場を希望します。 (来場時のやりとり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送付してもらったサンプルを天然染料で染色した。発色が非常に美しいので、是非使いたい。ただし、生糸の購入は想定していない。製織業者とは取引しているが、合燃糸業者との取引はない。 ● 周囲に生糸を扱える業者があるか聞いてみる。 ● 自分の住むリムザン地方は羊毛かが有名。Creuze に LAINAMAC というウール業者の組織があり、ウールに関する研修や勉強会を活発に行なっている。生糸にも興味を持つかもしれない。代表と知り合いなのでカタログとサンプルを渡しておく。 ● 絹糸をフランスに販売することになったら知らせたい。是非とも使いたい。 ● 刺繍作家としては、展示の着物と帯の見事さに感激している。
分析	<p>天然染料で染色した際の発色が非常に美しいことが把握できたこと、個人経営の刺繍作家では、製織業者との取引はあるものの、さすがに合燃糸業者との接点はないことが確認できたことが、収穫。生糸を購入することはない点は残念。</p>

企業名等	Filenlaine
担当者	Christine Delbove
職種	糸づくり・手織のプロ・アマ
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	フエルトを編むのを専門にしています。わたしの作品にこの生糸を混ぜ合わせること(混紡)ができるか、試してみたいです。
分析	サンプル発送後の回答は、現在のところなし。伊予生糸が混紡と相性がよいかについては、情報等がないことから、このテスト結果は興味深い。テストの結果がでるには、しばらく時間がかかると予想されるため、頃合いを見て再度フォローのメールを送ってみることが妥当。

企業名等	Atelier du Val d'Aix
担当者	Odile Chevallier
職種	糸づくり・手織のプロ・アマ
HP 等	<p>blog "tissagemain42"</p> <p>Cinq métiers à bras résonnent dans l'atelier depuis plus de quarante années ! Du plus large (2m20) au plus petit, tous tissent tentures, rideaux, cloisons lumineuses, étoles, écharpes, vêtements . Les matières utilisées sont toujours naturelles et de première qualité, lin, coton, laine, ramie, soie, raphia.. Un métier Arm, 10 cadres permet de créer des tissus plus complexes.</p> <p>Toutes les réalisations tissées -main sont des pièces uniques. Les tissages jouent sur les graphismes, les couleurs, les matières. Les modulations sont infinies, surprenantes, délicates pour donner des tissus très précieux, fins, légers, souples, solides, pérennes.</p> <p>Les tissages sont destinés à des commandes privées (le plus souvent pour vêtements et tentures) pour des expositions salon ou galeries, en harmonie avec d'autres créateurs (céramistes en ce qui me concerne) ou sur demande de stylistes qui souhaitent des tissus pour leurs collections.</p> <p>Deux métiers sont réservés aux stagiaires et élèves en formation.</p>  
生糸サンプル に対する 評価等	<p>21 デニールと 31 デニールを緯糸に試してみたいです。 わたしは、まずは経糸にふさわしい糸かどうかを見定める必要があります(わたしは、リヨン地方に住んでいます。生糸は簡単に手に入ります。経糸に何を選擇するかは、緯糸の価値を高めるには、もっとも本質的な問題です)</p> <p>わたしは、美容関係の小さなアトリエをもっていて、わたしの発注量は少ないです。その一方で、わたしは、この地方の知り合いに御社のことをお伝えすることができます。生糸の kg 単価をお知らせいただけますか？ サンプルを試してみること、了解します。試してみることが、わたしには楽しみで、やってみることに興味があります。</p> <p>まずは御社が提供した生地サンプルを試してみます。そして、わたしがもっている生糸との違いをお知らせします。</p>
分析	<p>糸の目利き力、絹糸デザイン・生地デザイン力があること、あわせて購買意欲をおもちであることが感じられる。さらには、自ら手織織機をおもちであり、小ロットでのサンプル生地を製織してもらえるよう協力をおもちかけられる可能性がある。</p>

※ 購買見込客にリストアップ

企業名等	Sara Revil
担当者	Sara Revil
職種	糸づくり・手織のプロ・アマ(刺繍業者)
HP 等	 <p>The screenshot shows the website for Sara Revil, titled 'SARA.REVIL ✖ ATELIER D'ART / TRESSAGE & PASSEMENTERIE'. It includes a phone number 'T. 06 88 59 46 71' and social media icons for Instagram and YouTube. The main content area features a grid of ten images: the top row shows white beaded necklaces, a close-up of a spinning wheel, a close-up of a spindle, a yellow ribbon being processed, and a finished white tassel; the bottom row shows a close-up of a spinning wheel, a purple glowing fiber being spun, a close-up of a spindle, a close-up of a spindle, and a close-up of a spindle.</p>
生糸サンプル に対する 評価等	<p>わたしは、木製の伝統的な編機を使ったリボンなどの編み職人です。とくに生糸を編んで、最高級のタッセルなどのオブジェに仕上げています。わたしは、近所にあるわたしの地方の唯一残った撚糸業者といっしょに仕事をしています。御社の生糸を見てみるのに大変興味があります。そして、将来、ひょっとするといっしょにお仕事ができるのでは、と想像しています。</p>
分析	<p>La fibre Textile から紹介いただいた協会員とはいえ、自社で撚糸から刺繍・組紐・タッセルなどの製作まで一貫してできる、れっきとしたプロの刺繍業者。旧式・低速の撚糸機をもちいた小ロット・特注品を、富裕層向けに製作・販売している。伊予生糸の取り組みに通じるところがあり、親和性が高い。</p>

※ 購買見込客にリストアップ

企業名等	Atelier Victorine
担当者	Catherine Codjia
職種	糸づくり・手織のプロ・アマ（オートクチュールデザイナー）
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	この生糸の繊維は、とても美しく、とくに引っ張りに強いです！ 小サイズのテスト織を試してみます。Zoom での参加希望。
分析	Sara Revil 同様に La fibre Textile から紹介いただいた協会員とはいえ、れっきとしたプロのオートクチュールデザイナー。セミ・オーダーメイドの服飾デザインを行う。生糸の繊維の特徴、とくに引っ張りへの強さを見抜き、小サイズのテスト織ができるなど、絹糸デザイン・生糸デザインの素養をもっていることが期待できる。

※ 購買見込客にリストアップ

6. 購買見込客への打診 第2段階

目的: 購買見込客をピックアップ。個別にメール問合せ等を行い打診

6-1. 個別 DM の追加配信

前章までの市場調査結果をふまえると、3-3.に示した「伊予生糸購買者」の仮説は、ほぼ的中しており、妥当であると評価できる。そこで、すでに DM 配信した「オートクチュールデザイナー」、「糸づくり・手織りのプロ・アマ」に加え、下記の購買見込客を WEB で発掘し、個別にメール問合せ(または WEB フォーム問合せ)を行った。結果、新規購買見込客を3社獲得した。

- 絹糸・生地デザインができる製織業者
- 生地加工業者(自社製織・自社加工)
- 生地加工業者(他社製織・自社加工)
- 刺繍・特殊加工業者
- 生糸卸販売業者

業種	DM 配信	配信 メール数	有望 コンタ クト数	購買見込客 (赤字:新規発掘)
① <u>オートクチュールデザイナー</u>	済	2,116	4	LEONARD Paris Adeline André nathalie gervais Atelier Victorine
② <u>絹糸・生地デザインができる製織業者</u>	追加 配信	35	2	Holding Textile Hermès Bucol FCN textiles
③ <u>生地加工業者(自社製織・自社加工)</u>	追加 配信	10	0	
④ <u>生地加工業者(他社製織・自社加工)</u>	追加 配信	70	0	
⑤ <u>刺繍・特殊加工業者</u>	追加 配信	17	2	Prelle Sara Revil
⑥ <u>生糸卸販売業者</u>	追加 配信	2	0	
⑦ <u>糸づくり・手織のプロ・アマ</u>	済	122	2	Atelier Val d' AIX Séraphita

② 絹糸・生地デザインができる製織業者

回答あり	企業名	注記	生糸製造	合糸撚糸	製織	レース	刺繍	特殊加工	染色	生地デザイン	製品デザイン	製品製作	卸	販売	修復
	AJ BIAIS				○					○	○	○			
	BELINAC	ファッションブランド。製織・生地売りもする			○					○	○	○			
	BENAUD CREATIONS	クリエイション、インテリア用生地製作			○				○	○	○	○		○	
	Boldoduc	製織、デザイン、市場調査			○					○	○				
	Bouton Renaud	ベルベット、シルク			○					○	○	○		○	
	Brun De Vian-tiran	製造工程すべてそろう。スカーフなど。シルクも扱う			○					○	○	○		○	
●	Bucol	HTHで生地供給に関わる9社のうちの1社			○					○	○				
	Carpentier &Preux	室内装飾用レース			○	○				○	○				
	DENIS & Fils	絹糸のボビン巻・製織専門。			○			○		○	○	○	○		
	Dentelles Jean Bracq	レース			○	○				○	○	○		○	
●	FCN Textiles	ジャカード、モスリン、ベルベット			○					○	○	○		○	
	FONTANILLE SCOP	弾力性のあるレース・リボン			○	○				○	○	○		○	
	Guigou	Sfate & Combierに吸収されている			○					○	○	○		○	
	La maison des canuts	絹織物工房＋ショップ。製造工程見学など			○					○	○	○		○	
	L'OEIL DE LOUP	Atelier du Val d' Aixとコラボして1点物製作。	○		○					○	○				
	MAISON DE CREATION ET FABRICATION TRADITIONNELLE DE SOIERIES LYONNAISE	伝統的なシルク小売店			○					○	○			○	
	Maison Roze	1470年創業。シルク製織の老舗			○					○	○				
	Musée du Tissage et de la Soierie	シルク等の博物館。			○					○	○				
	Philéone, la boutique de la Maison des Canuts	シルク博物館(La Maison des Canuts)内			○					○	○				
	Sfate & Combier				○					○	○	○		○	
	SOIERIES ROGER CHEVAL	シルクを使った生活空間用生地。スカーフ、ストール			○			○		○	○	○			
	Tassinari & Chatel (LEVIEVRE)	3世紀企業。文化遺産などカスタマイズ専門。			○					○	○	○		○	
	Tissages Denis & Fils	生活空間用生地。スカーフ、ネクタイ			○					○	○	○		○	
	ATBC Challes	HTHで生地供給に関わる9社のうちの1社			○					○	○				
	CARLHIAN	小規模合糸・撚糸対応可の可能性あり			○	○	○			○	○				
	Deveaux	製織			○			○		○	○		○		
	GOUTAREL				○					○	○				
	MARGUEROY SAS				○					○	○				
	NUANCES				○		○	○		○	○				
	RECORBET	製織			○					○	○				
	SOCIETE CHOLETAISE DE FABRICATION	ひも・リボン・レースの製造			○	○		○		○	○	○		○	
	Tissage des Roziers	ジャガード織(機械織)。オートクチュール向け			○					○	○				
	TS TEXTURE & DESIGN				○					○	○				
	VELOURS DE LYON	スカーフ、ストール、手染め			○			○	○	○	○	○			
	VERASETA				○					○	○				

③生地加工業者(自社製織・自社加工)

回答あり	企業名	注記	生糸製造	合糸撚糸	製織	レース	刺繍	特殊加工	染色	生地デザイン	製品デザイン	製品製作	卸	販売	修復
	dutel	ジャガード織・シルクネクタイ専門			○						○	○		○	
	L' Atelier de Soierie	絹織物工房＋ショップ。製造工程見学など			○						○	○		○	
	Les Tissages Perrin	デザイン・製織・生地販売			○						○	○		○	
	Pierre Frey	生地ブランド			○						○	○		○	
	satab	リボン製造			○						○	○		○	
	Soieries Chambutaires	製織			○						○	○		○	
	SOIERIE SAINT-GEORGES	絹織物工房＋ショップ。製造工程見学など			○						○	○		○	
	Soierie Vivante	絹織物工房＋ショップ。製造工程見学など			○						○	○		○	
	TRESOR DE SOIE	絹織物工房＋ショップ。			○						○	○		○	
	Verne & Clet	個人向けジャカード織など			○						○				

④ 生地加工業者(他社製織・自社加工)

回答あり	企業名	注記	生糸製造	合糸撚糸	製織	レース	刺繍	特殊加工	染色	生地デザイン	製品デザイン	製品製作	卸	販売	修復
	AB Créations	生地製作									○	○		○	
	Anna Schwitzer	シルクスカーフ									○	○		○	
	Art De Lys										○				
	ART MARTIN	ランジェリーブランドとの取引									○				
	ASTRID SARKISSIAN	シルクスカーフ									○	○		○	
	Atelier de Dominique	オーダーメイドのウエディングドレス									○	○			○
	AUBIJOUX LA SOIE	オリジナルシルクスカーフ販売・染色									○			○	
	Bamyan Ethnic Dreams										○				
	Bonnet Manufacture De Literie	リネン									○	○		○	
	Brochier Soieries	博物館用等シルクコレクション製作。オリジナル品製作									○	○			
	BROUSSAUD TEXTILES	シルクの靴下									○	○		○	
	CathAm Soie	シルクメインのリヨンのファッションブランド。									○	○		○	
	CLAIRE JOLY	ウエディングドレスデザイン									○	○			
	Coralie Prevert Paris	洋風アレンジシルクのキモノ									○	○			
	Daniel Vial	ハンドメイドのシルクスカーフ。生糸から製織までしている可能性あり									○				
	DEJEAN MARINE INDUSTRIE	旗の製作									○	○		○	
	DES IMPRESSIONS DES HOMMES										○	○		○	
	Divine Trouvaille	シルクスカーフ									○	○		○	
	Dominique Le Jean	フェルトテキスタイル									○	○		○	
	EMOTIS	スカーフ、ストール、クッション、ナチュラル生地									○	○		○	
	EN FIL D'INDIENNE...										○				
	Etoffe.com	インテリア用布地									○				
	FRÉNÉSY - TWENTY TWO	シルクストール									○	○		○	
	Genius objects	素材の新しい用途を発掘									○			○	
	Giles Hevair	シルクスカーフ等の製作									○	○		○	
	Handysoie Soierie Personnalisée	個人向け手製シルク製品									○	○		○	
	JCR Groupe	生地卸									○		○	○	
	JULIEN FOURNIÉ										○				
	La Caverne Aux Mille Tissus	シルク生地ショッブ									○			○	
	La Melamerceirie Parisienne										○				○
	L'ATELIER MAREY										○	○			
	Le Monde Sauvage Béatrice Laval	生地販売									○				
	LE REVE MISLUMI	ウエディングドレス									○	○			
	Les Belles Vagabondes	スカーフ									○				

回答あり	企業名	注記	生糸製造	合糸撚糸	製織	レース	刺繍	特殊加工	染色	生地デザイン	製品デザイン	製品製作	卸	販売	修復
	Les Coupons de Saint Pierre	シルク生地ショップ									○			○	
	Les Fantaisies de Tante Sophie	シルクスカーフ									○	○		○	
	Les Hautes Étoffes	Shibori, le Katazome, la Kasuriなどの日本生地を扱う									○			○	
	LINDER	製織・カーテン生地など									○	○		○	
	LISE CHARMEL	ランジェリーブランド									○	○		○	
	L'Orangerie	シルク入りアクセサリー									○	○			
	LSO Laetitia Saint Olive	シルクスカーフ									○	○		○	
	Luiza couture	ウエディングドレスデザイン・製作									○	○			
	Magasintissus.com	シルク生地ショップ									○			○	
	Maison Be Parisian	スカーフ									○	○		○	
	Maison Fétiche	スカーフ									○	○		○	
	Maison Sams	シルクスカーフ									○	○		○	
	MALFROY	シルクスカーフなどのファッションブランド。オリジナルスカーフ製作									○	○		○	
	Mapoésie - Paris	スカーフ									○	○		○	
	Millet	ウインタースポーツウエア									○	○		○	
	Mitwill Textiles Europe	生地卸・販売									○		○	○	
	mondial tissus	生地小売									○			○	
	montdor	あらゆる曲げられる素材の新商品開発									○	○			
	Nuances Fabrics	生地製作・販売									○	○		○	
	Oldregime	シルクのブラウスなど									○	○		○	
	Oolmoo	テキスタイルによる室内壁面デザイン									○	○			
	PETRUSSE	シルクスカーフ									○	○		○	
	Philea	レーヨン									○	○		○	
	Philée d'Astre	シルクスカーフ									○	○		○	
	Pochette Square	シルクスカーフ									○	○		○	
	PRB - LIEDR	シルク手染							○		○				
	Princesse Foulard	スカーフ等製作									○	○		○	
	rue du fil	生地小売									○			○	
	Sable Chaud	テキスタイル新商品開発									○				
	SARIS										○			○	
	Sophie Guyot	シルクブランド。シルク手縫い。綾織									○	○		○	
	THINGS WITH SOULS	オリジナルシルク蝶タイ									○	○		○	
	TISSUS ANDRÉ CALVET	生地ショップ									○			○	
	Toptex cube	テキスタイル新素材開発									○	○			
	UNIQUE TAPIS	じゅうたんシルクも扱う									○				
	YIGAN PEACE COUTURE	カクテルドレス・ウエディングドレス									○	○			

⑤ 刺繍・特殊加工業者

回答あり	企業名	注記	生糸製造	合糸撚糸	製織	レース	刺繍	特殊加工	染色	生地デザイン	製品デザイン	製品製作	卸	販売	修復
●	PRELLE ET CIE	刺繍・緞帳					○	○		○	○				
	Dominique Fave	刺繍				○					○	○		○	
	BONNETERIE D'ARMOR	服飾ブランド					○	○	○		○	○		○	
	Hurel	テキスタイル・刺繍					○				○	○		○	
	LINVOSGES						○				○	○	○		
	AEI	HTHで生地供給に関わる9社のうちの1社						○	○						
	DANY STYLE						○					○			
	DECOSTER CAULLIEZ							○		○				○	
	HUGOTAG	シルク染色専門						○	○						
	LENFANT Rémy et C°							○	○						
	MANUFACTURE HARTMANN - EURO TF	特殊加工						○							
	PLO HENRI ETS							○	○						
	S.E.T.A. LES OLIVADES							○	○				○		
	SOCIETE D'IMPRESSION SUR ETOFFES DU GRAND LEMPS	HTHで生地供給に関わる9社のうちの1社(職種不明)						○							
	TEINTURE DES CEDRES							○	○						
	Tissus d'Avesnières							○	○						
	VIANNAY							○							

⑥ 生糸卸販売業者

回答あり	企業名	注記	生糸製造	合糸撚糸	製織	レース	刺繍	特殊加工	染色	生地デザイン	製品デザイン	製品製作	卸	販売	修復
	au ver à soie	シルク専門系商	○											○	○
	Sajou	シルク専門系商	○											○	○

6-2. 打診結果まとめ

以下に、発掘した10社に対して打診したやりとりとその結果を次ページ以降にまとめた。
なお、打診は、下記の3通りで行った。

- 展示会会場への来場を希望した方： 会場
- Zoom でのやりとりを希望した方： Zoom
- それ以外の方： メール

(1) LEONARD Paris

企業名等	LEONARD PARIS
担当者	Tribouillard
職種	オートクチュールデザイナー
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	来場時に商談
分析	エルメス・シャネル・ディオールなど、オートクチュール 104 社が加盟するフェデレーション・デュ・ラ・オートクチュール・エ・デュ・ラ・モード (FHCM) の1社。通常は、自社ブランドに使う生地は、生地でしか購入ししない(糸からは買わない)ものの、伊予生糸のコンサルティングには関心をもつ様子。

来場時やりとり

【先方】年4度日本に出張し、支社のある東京・大阪のほか地方にも足を運んでいる。日本文化にも造詣がある。伝統工芸品やストーリー性のある商品が好まれる今の時代、先方は伊予生糸に可能性があると考え、値段、ターゲット層などを知るため来場した。

【当方】生糸の購入は可能か？

【先方】生糸は買えない。イタリアでレオナルドのシルクジャージ生地を織る工場に話ができるかもしれない。

【当方】1キロの生糸で作れる布地量は？

【先方】見当がつかない。伊予生糸の年間生産量は？

【当方】100 キロだ。

【先方】あまりに少ない。その量では布地化は無理だ。明らかに興味を失い帰宅を急ぐ雰囲気になる。伊予生糸が生き残るには生産量を増やすしかない。欧州でも同じような状態にある伝統工芸は少なくない。その場合、国・地方から出る僅かな助成金では到底生き残れず、大企業の傘下に入る、もしくは製造量を増やすかのいずれかの選択を迫られている。伊予生糸はヨーロッパより、日本で活路を見出す方が良いのでは。日本のブランドの方が、伊予糸の歴史・背景に興味を持ち真剣に取り組むはずだ。

【先方】林先生のストールも誠に美しく見事だが、フランスでは一重織に 720～900、二重織に 1000～1500 ユーロという下代は理解されにくい。御社は何かしたいのか、我々に何ができるかわからない。

【当方】コンサルティングをお願いできる可能性はあるか？

【先方】(驚いた様子)コンサルティングならばできるかもしれない。100kg で可能なことを考えてみる。コンサルタントとしてできる仕事も様々だ。内容を明確にするべく、Leonard Paris での 会議を提案する(嬉しそうな表情)。この後、先方は自社カタログを取り出し、ムスリン、タフタ、ツイル、ジャージの他、日本の「絞り」を応用した生地などを我々に見せてくれた。最後に、名刺とカタログをお渡しいただき、以降、Leonard Paris を訪問し、会議することを再度確認した。

まとめ

- 先方は、伊予生糸の品質などに関する明確な評価を下していない(あるいは下せない)。
- 供給可能量が 100kg と少ないことが最大のネック。先方にとって魅力的なビジネス(利益)にならない。
- 伊予生糸を購入後、製品化し、LEONARD ブランドで販売する意欲は感じられない。
- 唯一、関心をもつのはコンサルティング。
- 仮にコンサルティングを依頼したとして、絹糸デザイン・生糸デザインを円滑に、効率的にできるのかが、きわめて懐疑的。
- コンサルティング費用は、著しく高価である可能性が高い。金額はまったく不明。
- LEONARD というブランド力を借り、コンサルティングにおける試行錯誤とその費用負担をする覚悟が少しでもあれば、商談に臨み、見積りを依頼する意義はあり。そうでなければ、優先度・重要度の高い商談相手ではない。
- FHCM に所属するような有名ブランド等との商談においては、相手方が、このようなコンサルティング業務を提案してくる公算が高いことを留意しておく必要がある。

(2) Adeline André

企業名等	Adeline André
担当者	Adeline André(来場) Estelle(メール)
職種	オートクチュールデザイナー
HP 等	なし(下記は FHCM 上の紹介)。 <div style="text-align: center;">  </div>
生糸サンプル に対する 評価等	サンプル送付後、どのような生地デザイン、あるいは用途などがありうるか、と問い合わせたところ、契約締結後、有償にてコンサルティング、商品化支援をします、との回答がある。複数の種類の織り、カラーバリエーション、生地製作、洋服プロトタイプ製作、生地プロモーションの仕掛け、などにつきまして見積をいただきたい旨を回答すると、Adeline André 本人が来場する旨、再回答がある。
分析	LEONARD 同様、オートクチュール 104 社が加盟するフェデレーション・デュ・ラ・オートクチュール・エ・デュ・ラ・モード(FHCM)の1社。伊予生糸のコンサルティングに関心をもつ様子。

来場時やりとり

【先方】 Adeline André 氏本人が来場。自らによれば、職業はオートクチュールのクチュリエ。デザイナーという呼称は好まない。得意分野は、劇場コスチューム。顧客にパリのオペラガルニエ、ロシアのポリショイバレエ、モナコのモンテカルロバレエなど、世界トップクラスのバレエ劇場がある。自身でインスタに写真をアップしているのでご覧いただきたいとのこと。日本に行ったことはないが、ウール製織会社「藤井毛織」のコンサルタントだったことがある。自身の作品に「しのの」という硬い絹地を使ったことがある。

【先方】 スカーフに強く興味を示す。値段が高くなるのも理解できるとのこと。着物について縫い方にいたるまで細かく質問が出された(手帳に2ページにわたる質問を用意して来場)。

- 昔はマドレーヌ・ビヨネ、ニナ・リッチなどのクチュリエは 90 cm 幅シルクを主に使用。
- ドレス用に多く使われていたのは、薄めのサテンとモスリン。
- 自身はバイアス切りを行うので、バイアス切りに最も適した幅 130-140cm を使っている。
- フランスの生地幅は主に 120-140 cm.

【当方】 生糸を購入できるか。

【先方】 生糸は興味がなく、購入は検討していない。クチュリエなので、購入するのは生地。ただし、生地には強く、工場も数多く詳しく知っている。特にウール、次に麻に詳しい。色はナチュラルカラーが好みで、自然素材にこだわりがある。当然、「持続性発展」も購入基準になる。フランスでもリヨンの製糸場が無くなり、中国からの輸入に頼るしか無くなったことは嘆かわしい。

【先方】 1 kg の生糸で、23g/M2 の薄いモスリンが約 50 メートルできる。

【当方】 伊予生糸で製織した場合、生地の制作費として1メートルで 100 ユーロ内外かかる。原料&染料は別途加算だ。日本の製織2業者と生地作りが進んでいる。

【先方】 生地作りが進んでいるのは良いことだ。当方はフランスの紡織業者のリストを出せる。生地については、伊予生糸を使った帯はだマスク柄で非常に凝った模様で素晴らしいが、フランス向けには、使用する色と模様は多少抑え、コンテンポラリーでわかりやすい生地を作った方が良いだろう。製織工場には各自得意な技術がある。こちらの作りたい生地を織れる工場を見つけて協働するべきだ。自分には数々のアイデアがある。イメージに合わせて工場を選び、コンテンポラリーな生地を生み出したい。そのため、工場との話し合いを深める必要がある。

【当方】 伊予生糸は経糸としては弱い。代わりにウールやカシミアを使う案もあるがどう思うか。

【先方】 それは残念だ。他の絹糸を使うべきだ。

【当方】 コンサルティングはお受けいただけるのか？

【先方】 是非ともお受けしたいが、その際、契約内容を明確にしておきたい。

【当方】 見積をいただきたい。

【先方】 見積は、仕事のボリュームにもよるので現時点では出せない。

【当方】 日本と依頼業務内容を確認してお知らせする。その上で見積もりを出していただきたい。

【当方】 見本市出展についてどう思うか。

【先方】 検討しても良いと思う。PITTI FILATTI、意見を直接得られるのでプラスになる。

【先方】 会議終了時に、ご自身のアトリエで次の会議を行うことを提案された。

来場後やりとり（メール）

【先方】

Adeline André が伊予生糸の Hôtel Normandy での展示会を訪問したことを受け、彼女が考察したことを連絡差し上げることをお許しく下さいませ。

川崎さんと2名の方にお迎えいただき、伊予生糸の歴史、特性について詳細を説明いただきました。養蚕、低温保存、繰糸、繰への巻き取り、天然植物による糸への染色、すばらしくピュアで光沢があり、深みのある色あいをもつマテリアルの生産。手織織機でつくられたスカーフは、この糸の高いクオリティを引き出しています。

伊予生糸の繰の生産は、その生産量を増やすための構想を見つけなければならないでしょう。この比類なきクオリティをふまえれば、高級品というポジションをもっているのは明らかです。

このプロジェクトの計画書の構想に Adeline André がお手伝いしたい旨、提案申し上げることをお許しく下さいませ。

まず第1には、肌と環境にやさしいこの 生糸を構想するにあたり、伊予生糸の ECOLOGIQUE ラベルを取得することが適切で価値があると思います。高品質であることを裏打ちされたラベルは、産業の発展において、政府によって、ますます、厳しい条件がつけられています。消費者は、いまや ECOLOGIQUE ラベルや持続的発展に対し、おびただしい環境汚染をもたらすとくにモードの世界に向けて、厳しい要求をし、ナーバスになっています。

オートクチュールにおけるこのようなコレクションを構想するにあたり、Adeline André はずっと、自然素材しか使わないことで、持続的発展、環境保護にコミットします。天然ウール、天然カシミア、天然シルク、天然コットン、天然麻、..洗濯可能でリサイクル可能なもの。

伊予生糸は、川崎さんが提案したとおり、生地メーカー、伊予生糸を自社のコレクションに使うことに関心をもつ有望購買見込客との出会いを促すため、Pitti Filati や Première Vision などのサロンに、コレクションをそろえて出展することができるでしょう。

伊予生糸の展開を構想するには、伊予生糸の発祥の地である日本のシルク製織業者とパートナーシップを締結することが賢明でしょう。

そして同様に、フランスおそらくイタリアでも、Adeline André は、高級品に特化した製織業者を見つけだすのを実現するのをお手伝いできます。パートナーとしての条件は要相談です。

生地メーカーとの協働事業に加えて、伊予生糸の特質について詳細な検討のあとに実施されるさまざまな種類の織柄のサンプル、カラーバリエーション製作を提案するにあたってのコンサルタント契約書を作ることは欠かせません。

このコンサルタント業務を仕上げるためには、構想立案、その後のモニタリング、ならびに製造工場での伊予生糸の生地開発に参加することを提案いたします。

Adeline André は、伊予生糸がもつ特性の価値を高めるため、御社にだけ例外的に、生地づくりの提案を御社のためにじゅうぶんに検討いたします。

わたしたちは、弊社のアトリエで、伊予生糸のポロモーシヨンのために、ひとつあるいは複数のモデル(衣服、ドレス、アンサンブル...)をデザインし、製作できます。

Adeline André の提案は、アシスタントの手助けを借りながら、長い期間熟考を要する作業とプレゼン資料の製作を必要とします。

このことから、この場合は、わたしたちの提案は、御社には1年あるいは3年間で、更新可能な契約をすることが、伊予生糸の開発に向けた協働、コラボの観点からよいと思います。

御社より、伊予生糸の開発プロジェクトに関する契約を提案をいただけませんか？

Adeline André の実績を添付します。

ご連絡をお待ちしております。

まとめ

- 先方は、来場後メールで、伊予生糸の品質などに高い評価を下している。
- 先方が自ら伊予生糸を購入する意思はない。
- コンサルティングには強い関心をもつ。Adeline André ご本人の来場、出来上がる生地(23g/M2 モスリンが約 50 メートル/kg)の具体的なイメージ、手帳メモの事前準備、訪問後のメールなど、LEONARD と比べれば、相対的に本気度が伺える。
- 仮にコンサルティングを依頼した場合、絹糸デザイン・生糸デザインを円滑に、効率的にできるのかは、やや懐疑的。
- コンサルティング費用は、著しく高価である可能性が高い。金額はまったく不明。
- Adeline André というブランド力を借り、コンサルティングにおける試行錯誤とその費用負担をする覚悟が少しでもあれば、商談に臨み、見積りを依頼する意義はあり。そうでなければ、優先度・重要度の高い商談相手ではない。
- FHCM に所属するような有名ブランド等との商談においては、相手方が、このようなコンサルティング業務を提案してくる公算が高いことを留意しておく必要がある。

(3) nathalie gervais

企業名等	nathalie gervais
担当者	Nathalie GERVAIS (ブランドデザイナー本人) Virginie CANTENEUR (デザイナー) Frédéric VILLATTE (製造プロセス責任者)
職種	オートクチュールデザイナー
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	<p>インテリアコンサルタント。スタッフのなかで、とくに Ms. Virginie CANTENEUR は日本文化に強く影響を受けており、頻繁に日本を訪れている。彼女は群馬の富岡製糸場の存在を知っていた。衰退する伝統工芸の復興という観点からも伊予生糸に強く興味を示す。2007年に活動を停止したフランスのタペストリーの工場を復活させるプロジェクトをローンチさせているとのこと。</p> <p>デザイナー本人、製造決定権者含め、合計3名での来場希望。</p>
分析	強い意欲を感じることから、購買見込客にリストアップ。来場された場で、詳細を協議する。

来場時やりとり

【先方】 伊予生糸と皇室との繋がりにエピソードに感銘を受けた。伊予生糸のプロモーションはすばらしいイニシアチブだ。生糸でしか買えないのか?

【当方】 将来的には生糸・絹糸・生地、いずれの形態でも販売可能になる予定だ。

- 【先方】年間生産量(供給可能量)は?
- 【当方】皇室に使われる分を除くと年間 100 kg だ。
- 【先方】少なすぎてビジネスとして成立しない。生産量を増加させることはできないのか? 増加させる手立てはとられているのか? 国からの助成はどの程度あるのか? 例えば、3 年程度で何とかしてほしい。また、養蚕農家はどれだけあって規模はどの程度なのか?
- 【当方】生産量増加には時間がかかる。様々な理由からすぐには増やせない(理由を説明)。国からのサポートはある。GI にも登録されている。一方、GI 登録産品であるので他の地域で作ることはできず、生産量の急激な増加は望めない。養蚕農家は年々軒ずつ増えてきている状態ではあるが、絶対的に少ない。規模については後日お知らせする。
- 【先方】理解はできるものの、商品化するには少なすぎる。100 kg で作れる生地量はどれだけか? 例えば、我々と取引する場合、100 kg すべて売ってくれるのか? それでも少ないが。
- 【当方】商品化するのに量が少なすぎる点は理解している。同時に、伊予生糸はたて糸として使うことが難しい糸なので、他の絹と混ぜて使う可能性があることをご認識いただきたい。また、最終的な生地量は、生地の種類によって差が出る。つくりたい生地の大体のスペックがわかれば答えられる。100 kg お買い上げいただけるなら、もちろん全てお売りできるはずである。過去と現在の販売先と内訳については即答できないので後日お答えする。
- 【先方】いずれにせよ、魅力ある商材なので扱ってみたい。とにかく生産プロセスが素晴らしい。また失われつつある伝統工芸である点も、今の時代においては、とくに訴えるものがある。扱うならば、基本的な部分では日本の伝統に忠実な商品作りをしたい。例えば、染めの方法は教えてくれるのか。伊予の伝統的な染料の配合があるならそれを守りたい。
- 【当方】問題ないはずだ。調べてお知らせする。
- 【先方】野村シルク美術館の生産スタッフ人数、製造状況を詳しく教えてほしい。林先生のストールについても、モチーフによるとは思うが、一枚あたりの製造時間を教えていただきたい。
- 【先方】Mr. Frédéric VILLATTE は高級ブランドの衣類の製造工場を 数々作ってきた。商品化が現実的か数字で捉えたい。同様のプロジェクトをすでにフランスで手がけているだけに、本プロジェクトの趣旨にも共感している。失われかけている伝統産業を復活させるという点では、野村も同じだ。
- 【先方】われわれが手がけるタペストリー工場の再稼働プロジェクトでは、富裕層からの注文生産を中心にする。文化財として価値の高いものは、メセナを積極的に行う富裕層に提案して支えていくべきとのフランス的発想が根底にある。ちなみに、このタペストリー工場再稼働については、18 世紀の織機を修理することが現在の最重要事業とのこと。欠けている部品探しから、織機を修理できる職人探しまで行っているようだ。
- 【先方】林先生の繊細な風貌とエレガントな佇まいに感銘を受けた。美しい作品通りのイメージだ。

まとめ

- 先方は、伊予生糸の品質などに高い評価を下している。
- とりわけ、伊予生糸製作にまつわる手間暇やこだわりを最終商品の価値に上乗せして販売する視点と、それを実現できる見通しをもっていそうだ。
- 購買に強い意欲を見せる一方で、冒頭、伊予生糸でしか購入できないのかと聞いている点が懸念される。生糸を購入後、絹糸デザインができるのかを確認する必要がある。絹糸デザインができるのであれば、きわめて有望な見込客である。
- まずは、先方からの問合せ事項に回答するのが先決。そして、そのやりとりのなかで、さらに親密度、信頼度を高めていき、サンプル生地製作用の生糸渡しから絹糸デザインへと、進めていく手順を協議していく。

(4) Atelier Victorine

企業名等	Atelier Victorine
担当者	Catherine Codjia
職種	糸づくり・手織のプロ・アマ（オートクチュールデザイナー）
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	この生糸の繊維は、とても美しく、とくに引っ張りに強いです！ 小サイズのテスト織を試してみます。Zoom での参加希望。
分析	Sara Revil 同様に La fibre Textile から紹介いただいた協会会員とはいえ、れっきとしたプロのオートクチュールデザイナー。セミ・オーダーメイドの服飾デザインを行う。生糸の繊維の特徴、とくに引っ張りへの強さを見抜き、小サイズのテスト織ができるなど、絹糸デザイン・生糸デザインの素養をもっていることが期待できる。

Zoom(チャット)やりとり

【先方】ドレスの基本型 3 種類から一種類選び、スカート丈・袖丈・生地をカスタマイズして注文製作している。ドレスを作った余り布でヘッドバンドなどをはじめとするアクセサリを作っている。

【先方】サンプルの 31D 生糸でテスト織りを行なった。素晴らしい結果だ。光沢があり、耐久性にも非常に優れている。Atelier Victorine では絹でテキスタイル・ジュエリー(ブレスレット、ネックレス)を作っているの、是非とも購入したい。

【当方】生糸 1Kg あたり約 160 ユーロだ。

【先方】問題ない。注文したい。発注先の詳細、支払い条件、リードタイムなどをだしてほしい。

- 色付きの絹糸の購入は可能か？
- 生成り色の絹糸はあるのか？

【当方】外注作業と内業の内訳はおそらく下記の通り。

- 外注作業:合糸・撚糸
- 内業:製織・染色・精練・縫製・販売

【当方】のちにチャットやりとりを再確認したところでは、先方は、生糸でなく絹糸からの使用を前提としていると思われる。

まとめ

- 先方は、伊予生糸の品質などに高い評価を下している。
- 価格を把握した上で、購買に高い意欲を示している。
- 供給可能性に関して問合せをしなかったのは、カスタムメイドの少量生産がメインであるため、この点がネックにならない可能性があると考えられる。
- Sara Revil 同様、La fibre Textile から紹介された相手は、いずれも、絹糸デザイン、生糸デザインができる素養をもっている可能性を感じさせる。
- 絹糸から使用することが前提である場合、先方は絹糸デザインができるか否かが最大のポイントである。絹糸デザインができるのであれば、きわめて有望な見込客である。
- 一方、絹糸デザインできない場合には、多少の試行錯誤を伴うものの、比較的、効率的に試作生地製作ができる見込みがある。
- まずは、先方からの問合せ事項に回答することが先決。そして、そのやりとりのなかで、さらに親密度、信頼度を高めていき、サンプル生地製作用の生糸渡しから絹糸デザインへと、進めていく手順を協議していく。

(5) Holding Textile Hermès Bucol

企業名等	Holding Textile Hermès Bucol
担当者	Josette Gonnot
職種	絹糸・生地デザインができる製織業者
HP 等	 <p>BUCOL does not leave natural fibres behind but explores the possibilities of weaving them together with nylon, Lurex or wool, or by creating daring combinations with synthetic and artificial fibres. When combined with polyamide, Lurex becomes "sculpted lamé". Combined with the same polyamide, the fibre, Rhodia, produces Satin Buffle. Over the years, BUCO has not stopped introducing new fibres and developing new spinning processes: acrylic, polyester, Orlon, Tralbé, Trévira, Arnel, Qianna, etc.</p>
生糸サンプルに対する評価等	サンプル受領後、Zoom での参加を希望。
分析	Holding Textile Hermès (ホールディングス・テキスタイル・エルメス) の9社のうちの1社。エルメスの生地の製織を請け負うのみならず、自社で生地デザインも行う。Bucol の Josette Gonnot 氏は、エルメスの WEB サイトで、生地デザインができる世界でも数少ない専門家 (croiseur de fils) と紹介されている。絹糸デザイン・生地デザインができる世界的な第一人者の数少ない1人といえる。

Zoom(チャット)やりとり

【当方】サンプルは届いているか?また、サンプルについての率直な感想をお聞かせ願いたい。

【先方】サンプルは受け取った。正直、何を求められているか理解しかねている。どのような感想を出せば良いかわからない。

【当方】事業の背景、野村シルク博物館、伊予生糸、展示物を紹介。

【先方】特徴は理解した。生産量を知りたい。

- 【当方】年間生産量は 100 kg だ。
- 【先方】生地をモスリンのように薄くするか、厚くするかによって異なるとはいえ、(厚い生地とは 120 g / M2 以上) 100 kg はあまりに少なく驚きだ、(明らかに驚愕した様子)。キロあたりの値段は？
- 【当方】1 キロ 160 ユーロだ(輸送費抜きの値段)。
- 【先方】弊社では、通常、糸を買って製織している。今回は何を我々に求めているのか？
- 【当方】生糸を渡すので、試作し、販売してほしい。
- 【先方】実に光栄で、商品化のお手伝いはしたいが、弊社はまとまった量を売るビジネスを行なっているので、扱うには生糸の生産量が少なすぎる。少量でも扱える第 3 者にお繋ぎすることもできるかも知れない(この発言真意は要確認)。
- 【先方】サンプルを作る場合、生地幅は通常 140-150cm だ。サンプルといっても、長さ、つまり相応量の生糸が必要だ。価格が高いので、商品化するなら、伊予糸のストーリーを前面に押し出す必要がある。
- 【当方】本プロジェクトは皇室も発展を期待している。是非とも Bucol さんにお力添えいただきたい。水害で被災した伊予にとっては復興への強いサポートともなる。近年、伊予では養蚕業を復活させる気運があり、わずかながら養蚕農家を増やす取組に着手している。ところで、今のフランスでは中国産の絹糸が主流だと思うか？
- 【先方】同意見だ。
- 【当方】それならば、なおさら日本の絹を入れる時なのでは。貴社で合糸・撚糸は行なえるか？
- 【先方】昨年より体制を整えた。染色はパートナー企業で行っている。趣旨は理解した。先にも述べたが、第 3 者も加えて今後の議論を進めることを提案する。
- 【当方】開国後の日本で製糸業が発展したのはフランスのお陰であり、その縁を紡ぎ続けたい。春以降にリヨンにお伺いしプレゼンしたい。また、ゴノーさんにも是非とも日本にお越しいただきたい。
- 【先方】招待いただけるのであれば、訪問したい。

まとめ

- 先方は「ビジネス」の視点から、伊予生糸を評価している。
- その視点に立ち、まずは供給可能性が絶対的に不足していると指摘している。
- 先方が伊予生糸を購入し、自社で製品化し、そして販売することについては、否定的な見解であると見てとれる。
- 今回の Zoom の場ではじめて供給可能性、価格を伝えた。それを受けて、先方は伊予生糸の品質をどのように捉えているかは、確認したいところである。(供給可能性が少ないので BUCOL では取り扱えないもののクオリティの高さについては評価しているのか、あるいは、供給可能性を考慮しないとしても、クオリティ等の面で、価格と照らし合わせて製品化は厳しいと評価しているのか)
- 「第3者を交えた取組」の発言は、社交辞令的なものなのか、現実には第3者を含めた協働がありえそうか、真意を確認する必要がある。

(6) FCN textiles

企業名等	FCN textiles
担当者	Olivier Pelleray (社長)
職種	絹糸・生地デザインができる製織業者
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	サンプル受領後、メールでのやりとりを希望。
分析	生地の製織を請け負うのみならず、自社で生地デザインも行える事業者。日本への造詣が深く、日本企業との取引や日本への訪問を頻繁に行う。

メールやりとり

【先方】FCN Textiles へのコンタクトありがとうございます。みなさまから送られてきたフランス語は完璧ながら、CC での返信する際、フランス語が読めないパートナーがいるので英語で返信します。FCN Textiles は偉大な歴史をもっていて、数世紀にわたる織機を使っているフランスのシルク製品メーカーです。

弊社は独自のノウハウを保護し、類まれな専門性をもち、技術の習熟に力を入れています。

この日本独自の信じられないシルクを絹糸にするみなさまのチャレンジには、ほんとうに関心があります。それはきつともっとも純粹でハイグレードなシルク製品に仕上がることでしょう。日本とフランスといえば、ともに伝統のある国です。

こちら FCN Textiles 社が何者であるのか、そして何をしてしてるのかを紹介させていただきます。

www.fcn-textiles.com

最後に、わたしは個人的に、1997年から毎年2回、弊社のハイエンドファブリックを紹介するために、日本を訪問しており、日本の文化に造詣があることをお伝えしたいです。

FCN Textiles は、みなさまとこの冒険をいっしょにチャレンジできるたくさんの設備をもっています。まずは、このメールをご覧になっての感想をお伺いしたいです。

そして次に、品質確認のためのサンプル製作ができるかどうかの決定をすることになるでしょう。Mrs Traclet は FCN Textiles のパートナーであり製作マネージャーです。彼女は、どんな織りを試してみる前にも、技術的な質問をしてくるでしょう。これは、またいずれ議論するタイミングで。

※その後、メールとサンプルを送付済。その後はまだ回答なし

まとめ

- 展示会実施後に問合せしてきたものの、絹糸・生地デザインができる製織業者であることから、引き続き、コンタクトを続ける。
- 先方がコンタクトしてきた真意は、①生糸からの新製品開発を協働したいのか、②伊予生糸を合糸・撚糸・製織する業務を受託したいのか、そのいずれであるかを明確にする必要がある。
- さらに、完成した商品は誰が販売するのか、を明確にする必要がある。BUCOL 同様に、完成品を自社で販売することは想定していないのであれば、協働できる可能性はほぼないとみたほうがよい。

(7) Prella

企業名等	Prella
担当者	Olivier Pelleray (社長)
職種	絹糸・生地デザインができる製織業者
HP 等	<p>maintien des traditions et du savoir faire. La grande force de la Manufacture est d'avoir su conserver les techniques anciennes et de faire cohabiter plusieurs générations de métiers à tisser, depuis les métiers à bras qui sont les seuls sur lesquels on peut tisser les précieux velours ciselés, brochés en soie ou brocarts d'or et d'argent, jusqu'aux métiers électroniques les plus modernes sans sacrifier ni à la qualité, ni à la beauté des étoffes.</p> <p>Ambassadrice du luxe et du raffinement à la Française, la fierté de Prella est de perpétuer la grande tradition lyonnaise du travail de la soie pour une clientèle à la recherche de l'exceptionnel.</p>  
生糸サンプルに対する評価等	<p>提供サンプルは、先方からの具体的な指示あり。 まずは、メールでのやりとりを希望。</p>
分析	<p>Prella は、1752 年から操業しているファミリー企業の製織・刺繍工場。世界中のキュレーター、コレクター、インテリアデザイナーが生地を使用。18 世紀と 19 世紀のスタイルのブローチ (錦・金襴の一種)、ベロア・シセレ、文様入りベルベットを再現するため、100 年前の木製の織機を使用して手で織り上げる能力をもつ。生地は、パターンが複雑な場合には、1 日に 12 インチしか織ることができず、製作期間は、数年に及ぶこともある。</p> <p>Prella に在籍する情報保存の専門家が、今世紀に入り再製織したパリ・オペラ座の緞帳など、各種修復プロジェクトの生地製作に関する資料を供給する。世界中のクライアントにカスタムメイドの生地織を提供する。</p>

メールやりとり

【先方】先方が、伊予生糸の品質を評価するにあたっては、現在用意している伊予生糸のサンプルではなく、以下の手順をふんだサンプルを送ることが必要。

サンプル引渡し前に、当方が必要な準備

1. 精練

Prelle は、精練した後の生糸での引渡しを希望している。

そこで、フランスの精練工場 PROVERBIO にサンプル生糸を発送し、精練してもらう

- ・300 グラム×4撚糸パターン×2精練タイプ (要見積依頼)

精練タイプには、大きく2タイプある (cadre pendulaire と étoile verticale)

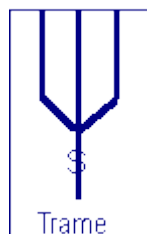
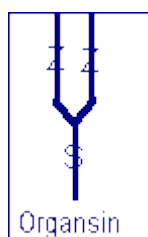
事前に Prelle が信頼を置く精練工場が PROVERBIO であるかは要確認

2. 合糸・撚糸

精練した生糸を、そのまま合撚糸工場に送る。

Prelle がふだんよく使う撚糸パターン(4種)

- | | |
|---|------------------------------------|
| ・Organsin 3x20/22deniers, 55 dtex | (諸撚り: 単糸を Z 撚りした3本を S 撚り 計 55dtex) |
| ・Organsin 4x20/22deniers, 73 dtex | (諸撚り: 単糸を Z 撚りした4本を S 撚り 計 73dtex) |
| ・Trame soie 8 x 20/22deniers, 144 dtex | (片撚り: 単糸 8 本を S 撚り 計 144dtex) |
| ・Trame soie 12 x 20/22deniers, 218 dtex | (片撚り: 単糸 12 本を S 撚り 計 218dtex) |



上記のため 21deniers (20/22deniers)、4 種、精練後の重量が各 300 ~330g 提供が必要 (Prelle に確認済)

Prelle が信頼を置く撚糸工場は、Moulinage de la Rive (Prelle に確認済)

Prelle が好む撚糸数は、Moulinage de la Rive に確認する必要あり。

Moulinage de la Rive が撚糸を行う (要見積依頼)

3. 納品

Moulinage de la Rive が撚糸された絹糸を Prelle へ納品する。

その際の納品形態は、一般的な納品形態であるボビン巻・コーン巻ではなく、日本では聞きなれない grille teintures emboîtables という形態。

これは、引き渡された撚糸(絹糸)をそのまますぐ染色できるようにするためのもの。

サンプル引渡し後に、Prelle が行う作業

4. 染色

Prelle が4撚糸パターン×2精練タイプの絹糸を染色

5. 製織

Prelle が4の染色した絹糸で製織・あるいは刺繍

6. 絹糸・生地を評価

Prelle が完成した絹糸・生地を評価

評価されれば、購入の可能性あり

まだ改良の余地があれば、1～5のテストを新たに繰り返す可能性あり

評価されなければ、不採用

まとめ

- 取引する仕様・条件がきわめて明確。とくに、今回の事業において、唯一、絹糸デザイン(合糸・撚糸の仕様、納品形態)について明確な仕様を提示した事業者である。
- HP で見る限り、錦・金襴などの製作生地が、龍村美術織物の帯などに通じる特徴があるように感じる。(国内で帯として使う特性と似ていれば、質・ロットともに取引しやすい可能性あり)
- 無用な試行錯誤などが極力回避できると期待できる
- 先方が希望するサンプルを準備し、発送することを行うのが先決
- 有望な取引先候補

(8) Sara Revil

企業名等	Sara Revil
担当者	Sara Revil
職種	糸づくり・手織のプロ・アマ(刺繍業者)
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	<p>わたしは、木製の伝統的な撚糸機・編機を使ったりボンなどの編み職人です。とくに生糸を編んで、最高級のタッセルなどのオブジェに仕上げています。わたしは、近所にあるわたしの地方の唯一残った撚糸業者といっしょに仕事をしています。御社の生糸を見てみるのに大変興味があります。そして、将来、ひょっとするといっしょにお仕事ができるのでは、と想像しています。</p>
分析	<p>La fibre Textile から紹介いただいた協会員とはいえ、自社で合糸・撚糸から刺繍・組紐・タッセルなどの製作まで一貫してできる、れっきとしたプロの刺繍業者。旧式・低速の撚糸機をもちいた小ロット・特注品を、富裕層向けに製作・販売している。伊予生糸の取り組みに通じるところがあり、親和性が高い。</p>

メールやりとり

【当方】 今回のプロジェクトに関心をおもいだいただき、ありがとうございます。サンプル生地を、すぐにお送りいたします。Sara Revil さまの WEB サイトにて、フランス伝統の木製編機を使った、たいへん美しい作品をはじめ拝見しました。とくに合糸・撚糸の独特な製造プロセスに感動しました。

今回のプロジェクトを成功させるには、あなたのような職人クリエイターならびに撚糸業者・刺繍業者とのコラボレーションが必要です。とりわけ、伊予生糸は、Sara Revil のような低速撚糸機との相性がよいと感じています。

【先方】 あらためて自己紹介します。わたしは、St Chamond で事業を営む木製編機の職人です。数日前、伊予生糸のとても美しいサンプルを受け取りました。わたしのアトリエは、リヨン地方 Pilat à Lupé コミューンにおける最後に残った生糸の撚糸業者といっしょに仕事をしています。このアトリエは、100年続くノウハウを有しています。

わたしたちは、わたしたちの織機の恩恵を受けながら、編み、生糸の撚糸、工業製品用テキスタイル、オリジナル・タッセルのオブジェの製作において高い品質のものに仕上げることをお約束いたします。

そして同様に、わたしたちの地域におけるとても豊かな歴史と工業テキスタイルに関わる労働者にまつわる記憶の価値を高めることにコミットしています。

伊予生糸の品質にとても関心があります。サンプルは、とても素晴らしいです。

わたしたちは、美しく、珍しいわたしたちの素材にこだわりを持っています。同様に、わたしたちは、わたしたちの業界ではめずらしく、小ロットでしか仕事をしないという特徴もっています。

みなさんが必要とするものをお伺いする前に、まずはお話してみたいです。というのも、わたしは、みなさんのいま抱えているさまざまな課題にお答えできると思うからです。

お返事お待ちしております。

【当方】 伊予生糸に関する高評価をお聞かせいただき、たいへんうれしく存じます。

わたしたちとしても、Sara Revil さんの素晴らしいクリエイションにとっても惹かれています。

伊予生糸を使って、御社のノウハウを活かしながら、新商品開発をコラボするプロジェクトに取り組むことに関心があります。わたしたちの6件の養蚕農家も、少ない生産量しか生糸を生産できません。わたしたちには、共通点が多くあると思います。お互いの文化を発見し合い、尊重しあうことで、高品質の新しい製品を作り出したいと願っています。

日本では、新年度は4月に始まります。もしわたしたちが予算を確保できれば、夏くらいからコラボレーションを開始できればと考えています。現段階ではお約束はできないものの、試作用の生糸を無償あるいは格安にてご提供できる可能性はあります。

その場合は、御社の設備は、たいへん独特ですので、お伺いしなければならないことがたくさんあると思います。現段階で、お伺いしたいことは以下のとおりです。

- 好みの生糸 (21, 27 または 31 デニール)
- 最初の試作品を作るにあたって必要な生糸の最小ロット
- 納品形態 (通常、伊予生糸は1繰 180g の状態で納品します)
- 精練は必要か (先練か、後練か) ?

ごいっしょに一步一步進めていたたら幸いです。

まとめ

- 先方は、伊予生糸の品質などに高い評価を下している。協働にも強い意欲を示している。
- 先方は、合糸・撚糸できる業者とふだんから協働している。絹糸デザインはできると判断してよさそう。
- 先方は、糸のままの状態のものが最終製品 (リボン、組紐、タッセルなど) になるケースが多いと予想される。生地を作ることは稀で、生地デザインは不要と思われる。
- このため、無用な試行錯誤などが極力回避できると期待できる。
- リヨン地域の伝統工芸・職人技の継承に携わる姿勢が、伊予生糸と通じるものがある。
- 小ロット生産を希望していることから、取引量での合意が得やすいと期待できる。
- 交渉を進めるにあたり、完成品はどちらが販売するのかを明確にする必要あり。先方が販売するのであれば、当方がその協力はできるのか、あるいは反対に先方の既存品の日本向け販売に当方が協力できるのか、を交渉前に明確にしておく必要あり。
- 絹糸から最終製品に仕上げる木製編機が旧式のものでひじょうに独特。納品形態などでの調整が必要になる可能性が高い。
- 有望な取引先候補

(9) Atelier Val d'AIX

企業名等	Atelier du Val d'Aix
担当者	Odile Chevallier
職種	糸づくり・手織のプロ・アマ
HP 等	<p>blog "tissagemain42"</p> <p>Cinq métiers à bras résonnent dans l'atelier depuis plus de quarante années ! Du plus large (2m20) au plus petit, tous tissent tentures, rideaux, cloisons lumineuses, étoles, écharpes, vêtements. Les matières utilisées sont toujours naturelles et de première qualité, lin, coton, laine, ramie, soie, raphia... Un métier Arm, 10 cadres permet de créer des tissus plus complexes.</p> <p>Toutes les réalisations tissées -main sont des pièces uniques. Les tissages jouent sur les graphismes, les couleurs, les matières. Les modulations sont infinies, surprenantes, délicates pour donner des tissus très précieux, fins, légers, souples, solides, pérennes.</p> <p>Les tissages sont destinés à des commandes privées (le plus souvent pour vêtements et tentures) pour des expositions salon ou galeries, en harmonie avec d'autres créateurs (céramistes en ce qui me concerne) ou sur demande de stylistes qui souhaitent des tissus pour leurs collections. Deux métiers sont réservés aux stagiaires et élèves en formation.</p>  
生糸サンプルに対する評価等	<p>21 デニールと 31 デニールを緯糸に試してみたいです。 わたしは、まずは経糸にふさわしい糸かどうかを見定める必要があります。</p> <p>わたしは、美容関係の小さなアトリエをもって、わたしの発注量は少ないです。その一方で、わたしは、この地方の知り合いに御社のことをお伝えすることができます。生糸の kg 単価をお知らせいただけますか？ サンプルを試してみること、了解します。試してみることが、わたしには楽しみで、やってみることに興味があります。</p> <p>まずは御社が提供した生地サンプルを試してみます。そして、わたしがもっている生糸との違いをお知らせします。</p>
分析	<p>糸の目利き力、絹糸デザイン・生地デザイン力があること、あわせて購買意欲をおもちであることが感じられる。さらには、自ら手織織機をおもちであり、小ロットでのサンプル生地を製織してもらえよう協力をおもちかけられる可能性がある。</p>

メールやりとり

【先方】 サンプルに関しては、まず、大きなロットを取り扱っているリヨンにあるシルク関連企業に送ることをお勧めします。

お伝えしたとおり、わたしは、手織りだけを行う小さな職人アトリエです。取扱量が少ないし、物

流もっていません。わたしは、絹糸はリヨンかイタリアで買います。イタリアとスイスでは、高品質のものを小ロットで買うことができます。

あるいは、昔の糸は現在の糸よりも品質が高いので、それらをストックする用に、閉業したアトリエを探しています。そのようなことから、伊予生糸の仕事は、価値をもったものではないかと思っただ次第です。

もし、リヨンにあるシルク関連企業に伊予生糸のサンプルを持っていけないのであれば、連絡先をご案内できます。あるいは、わたしがリヨンに行ったときに持参することもできます。ですが、シルクで仕事をしている会社は、だんだんと少なくなっていることをご承知おきます。

リヨンでは、たくさんの《SILK IN LYON》と呼ばれる職人の集団とシルク関連企業が連帯した活動が行われており、ここ最近の2回は、たしか日本が招待されているはず。ひょっとして、伊予生糸は、そこにいらっしゃいましたか？

わたしは、知り合いの日本人の家で、とても美しい織物を見ました。その方々にサンプルを送ることもできるでしょう。ひとりの織工さんは、手織り生糸でシルクリボンを作る仕事をしています。その方の連絡先を知りたいですか？

現在のところ、わたしは、伊予生糸のサンプルをいただき整経が終わったところです。もちろん、ほんの1cmの横幅に30本セットして、ちょっと見てみただけです。もし、もっとたくさんの生地が必要なら、生糸はもっとたくさんの量が必要です！

わたしがもっている他の糸とも比べてみたいです。どんなふうになるか関心があります。

Skype なら使ったことがあります。

まとめ

- 先方は、伊予生糸の品質に高い関心をもっている。そもそも糸・手織りが大好き。
- 謙遜されているものの、生糸のクオリティを評価できる目利きをおもちである。
- 伊予生糸について、大量ロットを販売したいのだろうと勘違いされている。
- 先方ご自身が、手織りで試作生地を作る稀有な存在であることにお気づきでない。
- 手織りとはいえ、少量生地サンプルの製作を打診できる可能性がある有望な取引先候補

(10) Séraphita

企業名等	Séraphita
担当者	Jeannet Christelle
職種	服飾製造・卸
HP 等	
生糸サンプル に対する 評価等	<p>テキスタイル業界の実習生受け入れ機関です。そして、わたしは常に素材を供給する事業者さまからのコンタクトを待っています。ですから、御社の素材を手仕事で絹糸にすること(=合糸・撚糸すること)、紡錘や糸車にすることに関心があります。御社は、個人相手あるいは小ロットで取引することはできますか？もしそうなら、取引条件は？</p> <p>御社からのサンプル送付の提案はありがたいところですが、わたしは、まずは小ロットで購入し、わたしのまわりの人たちに見せることができたらと思います。</p>
分析	<p>服飾製造・卸業で登録されているものの、実質的には、テキスタイル業界の実習生受け入れ機関。メインは羊毛。フランスでは、このように、将来テキスタイル業界で働きたい人や、趣味で手芸などをする人向けの実習を提供する受入機関がひじょうにたくさんある。</p> <p>先方に生糸サンプルを送るとともに、最小ロット、取引価格を提示した。</p>

メールやりとり

【先方】返信とご提案ありがとうございます。何点か確認したい点がございます。

わたしの実習機関は、ほんとうに小規模です。テキスタイルに関するノウハウを伝授するための実習受入を1年間にいくつかやっています。ですが、わたしはまだ、合糸・撚糸・製織に関するすべての技術のノウハウを提案できるほどこの地域や素材に精通しているとはいえません。

たとえば、わたしは製織に関する実習はやりません。ですから、わたしは、製織に関しては、御社の提案をわたしの実習におとしこむことはできません。わたしが好きな実習テーマは、おもに下記のようなものです：

ウール編み。1日羊毛刈り。自然素材の基礎知識。梳綿（採取した羊毛を櫛で均して、繊維方向が揃った綿状の塊にする作業）、手作業での糸づくり、紡錘や糸車への巻き取り、フェルト加工、そして染色です。伊予生糸は、絹糸づくり、フェルト加工、染色の実習のための1次素材として、基礎知識の学習教材用のサンプルとして使えるでしょう。わたしは原則羊毛を使うものの、少量であれば生糸も使用します。

ほかには、みなさんは総のことをお話しされました。わたしがイメージしているものと同じものかどうかを確認するため、写真をいただけますか？総の状態の場合、わたしは、羊毛であればすでに製糸されたもの、あるいはスカーフになったものならならわかります。わたしのほうでは、まだ製糸される前の素材に関心があります。みなさんが総と呼んでいるものが、リボンのようなものか、糸のようなものか、がわかりません。

まとめ

- 先方は、糸を使い、テキスタイル業界の実習生のインターン受入などを行っている。
- 専門は羊毛。
- 先方と同様なテキスタイル実習受入機関は、フランスにひじょうに多数ある。このなかには、「日本のクオリティの高い生糸からの生地作り」をテーマにした実習プログラムの素材として伊予生糸を採用し、同業他社との差別化を図り、実習生を獲得したい機関が多数あると分析する。
- 上記は、サンプルを渡し、最小ロット・価格を提示した後のやりとりである。通常、市場で取引される生糸の最小ロットは 100kg 以上である。このような機関は、小ロットの取引を希望している。最小ロット 1kg から提供できる伊予生糸は、その価格に関わらず、成約の見込みがあるがあるといえる。
- 小ロットの伊予生糸を不特定多数のテキスタイル業界の実習生受入機関に供給するという販売チャンネルは、可能性があるかと期待できる。

7. 合糸・撚糸工場へのヒアリング

第3段階

目的: 合糸・撚糸を請負う技術的可能性(保有設備等)のヒアリング

自ら生地デザインは行わず、デザイナーより指示されたスペックの合糸・撚糸を請け負う業者6社に対して、ヒアリングを行なった。

- 保有設備
- 合糸・撚糸の請負ができる条件(生糸取扱の可否、織度、撚糸数、下撚り・上撚り)
- 引渡形態(総、コーン、ボビン)、納品形態(コーン、ボビン)
- 最小ロット、見積

ヒアリング結果(概要)

- 6社のうち3社が生糸への対応が可能
- 発注仕様(織度、撚糸数、下撚り・上撚り、長さ)が明確であれば請負可能
- 撚糸数 最小 90 回/m、最大 3,000m 回/m(1社)
- 合糸数が多い(織度が大きい)場合は、糸むらがあると撚糸機が止まりやすい。可能な限り糸むらの少ない生糸をお願いしたい(伊予生糸には、やや厳しい条件)。あるいは合糸数の少ない織柄をデザインすることを推奨する。
- 先染、先練しない場合は、500 グラムごとに 230x56mm の双円錐カートン(bicônes carton)に巻き取るのを勧めする。
- 総渡しの場合は、ボビン巻取費用が追加になる(1社)
- 総渡しにも、対応可能(1社)
- 試作の場合、最小ロットはない(2社)。1試作につき基本料金 120EUR がかかる(1社)。メートル単価
- 納品形態はチューブ、染色向け、コーン(1社)
- 最終製品用の場合は、最小ロット30kg(1社)
- 見積は、発注仕様が確定してから(3社)
- ヒアリングした6社以外にも撚糸工場は数社あり。

まとめ

- 合糸・撚糸業者は、商慣習上、完全な「請負業者」体質である。
- 合糸・撚糸の知識と技術力は高いものの、自ら絹糸デザインする能力は持ち合わせない
- 仕様さえ的確に示せば、事業者は合糸・撚糸を引き受けてくれる

8. 総括と今後の進め方

本業務の総括と、今後の進め方について以下にまとめた。

8-1. 総括

● 伊予生糸・野村シルク博物館のストロングポイント

- 光沢
- 嵩高・軽量感
- 小ロットでの取引可
- 地域性・歴史性・ストーリー

● 伊予生糸・野村シルク博物館のウイークポイント

- 供給可能量が著しく小さい
- 融通がきく販促費をもたない
- 自ら営業・交渉ができない(サポートがないかぎりは動けない)
- 外部との連携体制がない(試作のための合糸・撚糸・製織)
- 相場価格より高い
- 緯糸にしか使えない

8-2. 有望見込客

● 有望な取引先業種

- 絹糸デザインができる刺繍・特殊加工業者
- 絹糸デザイン・生地デザインができる製織業者
- 絹糸デザイン・生地デザインができるテキスタイルデザイナー
- テキスタイル実習生の受入機関

● 有望取引先と優先順

優先順位	企業名等	摘要
1	Prelle	絹糸デザインができる刺繍・特殊加工業者
2	natalie gervais	絹糸デザイン・生地デザインができるテキスタイルデザイナー
3	Atelier Victorine	絹糸デザイン・生地デザインができるテキスタイルデザイナー
4	Sara Revil	絹糸デザインができる刺繍・特殊加工業者
5	Séraphita	テキスタイル実習生の受入機関
6	Atelier Val d' AIX	サンプル生地の製織を委託する候補
7	Holdings Textile Hermès Bucol	絹糸デザイン・生地デザインができる製織業者
8	Adline André	絹糸デザイン・生地デザインができるテキスタイルデザイナー
9	LEONARD Paris	絹糸デザイン・生地デザインができるテキスタイルデザイナー
10	FCN	絹糸デザイン・生地デザインができる製織業者

8-3. 今後の進め方の留意点

● 即対応

今回コンタクトをとった相手のうち、購買意思を示している相手 (natalie gervais、Atelier Victorine) や、具体的なサンプルを要求している相手 (Prelle)、コンサルティングを申し出ている相手 (Adline André、LEONARD Paris) などは、現在はまだモチベーションが高い状況である。ところが、フランス人は、気まぐれで冷めやすい。今のこのタイミングを逃すと、将来、商談を復活させることは、ほぼ不可能であると肝に念じておいたほうがよい。

今回、商談を行った相手から出された質問・提案等には即回答することが必須である。また、こちらから、簡単な提案などを即行っておき、つなぎとめておくことが必要である。そして即回答・即提案したらしたで、今度は相手が好感触をもっていればいるほど、そのまますぐ試作づくりなどに進むことになる。すなわち、生糸の追加発送、合糸・撚糸・製織・精練企業への外注、交渉仲介のための翻訳・通訳の手配など、さまざまな出費が必要になってくる。試作は、1回では済まず、複数回試行錯誤しなければならない可能性もじゅうぶんある。なお、これら出費を相手負担とする考え方もありうるが、その場合は、まず成約できないと思った方がよい。

融通のきく販促費をもたない野村シルク博物館は、以上のような出費を工面できない可能性が高い。ところが、フランス人は、日本の行政による予算措置など理解できないし、しようもしない。

今後生じる費用を誰が負担し事業を継続するかについて、現段階では決断できないとしても、本事業で獲得した見込先をみすみすすべて失わないことを最優先するのであれば、まずは、即対応することが必須である。

● 柔軟対応

即対応後は、サンプル提供→試作品製作→本製品製作という流れが基本と予想される。取引先は、この過程における試行錯誤が少ないであろうと予想される相手をより有望と評価しているとはいえ、今後は、先方から予期しない要望などが出されることがありうる。例えば、21, 27, 31デニールではない織度の生糸がほしい、日本で合糸・撚糸までしてほしい、精練してほしい、縷とは異なる形態で納品してほしい、など。あるいは、生地を試作に50kgの生糸を提供してほしい、フランスで染色するのでその費用を負担してほしい、など。それぞれの場合において、出費する費目や外注先、金額が変わる。その結果、伊予生糸の納期・取引価格・ロットなども変わってくる。

あるいは、見込客も変わりうる。見込客が変われば、展示会出展・開催などではなく、個々の見込客に直接個別訪問したほうが合理的、効率的に成果をあげられる可能性もある。この

場合も、出費する費目や金額などが変わってくる。

コロナ禍で、この1年間、ビジネスのスタイルが大きく変わったのを目の当たりにしてきた。これからの1年間も、さらに大きく変化する可能性がある。

これらをふまえれば、次年度以降の事業主体がだれになるかに関わらず、立案した内容に拘泥するのではなく、計上する出費等に対して極力柔軟に対応できるようにしておくことが必要不可欠だといえる。

- **成約優先**

今回の求評において最も痛切に指摘されたのは、伊予生糸の供給可能量が著しく小さいということである。大きなビジネスをしたい相手にとっては、この点が最大のネックになる。そして、今年度事業では、有名オートクチュールブランドなどになればなるほど、その傾向は顕著であることが把握できた。また一方で、有名ブランドであっても、効率的かつ的確に絹糸デザインや生地デザインができるということでもなさそうだ、という確かな感触を得た。

現在の伊予生糸の供給可能量は、年間100kgである。端的にいえば、確保する取引先によっては、1件だけで、その全量を完売することができる量である。

以上のようなことをふまえれば、やみくもに有名オートクチュールブランドなどを追いかけるのではなく、「成約優先」の立場にたち、強い関心や購買意欲を示す相手、絹糸デザイン・生糸デザインができるプロ・アマとの商談を優先的にすすめることが妥当であると考ええる。